



2022年度 第1四半期（4-6月） 決算説明会【電話会議】

コマツ出席者

取締役（兼）常務執行役員CFO	堀越 健
常務執行役員経営管理部長	森下 正敏

2022年7月29日（金）

目次

I. 2022年度 第1四半期（4-6月）決算の概要 <P3-P10>

- P4-P5 : 2022年度 第1四半期（4-6月）の概況・セグメント売上高と利益
- P6-P7 : <建設機械・車両> 2022年度 第1四半期（4-6月）の状況
- P8 : <リテールファイナンス> 2022年度 第1四半期（4-6月）の状況
- P9 : <産業機械他> 2022年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益
- P10 : 連結貸借対照表

II. 2022年度の業績見通し <P11-P21>

- P12 : 2022年度の見通し（概要）
- P13-P18 : <建設機械・車両> 主要7建機需要推移と見通し（全体および地域別）
- P19-P20 : <建設機械・車両> 鉱山機械の需要推移と売上高の見通し
- P21 : <建設機械・車両> 部品の売上高の見通し

参考資料 <P22-P30>

- P23-P27 : 四半期毎の状況
- P28-P30 : BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕

I . 2022年度 第1四半期（4-6月）決算の概要

2022年度 第1四半期（4-6月）決算の概況

- ・ 連結売上高は前年同期比+17.8%増収の7,638億円。
- ・ 営業利益は前年同期比+51.5%増益の936億円、売上高営業利益率は+2.7ポイント上昇し12.2%。
- ・ 純利益は前年同期比+96.7%増益の805億円。

金額単位：億円	2021年度4-6月 ¥109.9/USD ¥131.7/EUR ¥84.5/AUD	2022年度4-6月 ¥127.1/USD ¥136.9/EUR ¥92.0/AUD	前年同期比	
			増減	増減率
連結売上高	6,483	7,638	+1,155	+17.8%
セグメント利益	609	944	+335	+54.9%
その他の営業収益（▲費用）	8	▲ 8	▲ 16	-
営業利益	618	936	+318	+51.5%
売上高営業利益率	9.5%	12.2%	+2.7ポイント	-
その他の収益（▲費用）	▲ 3	189	+192	-
税引前純利益	615	1,125	+510	+83.0%
当社株主に帰属する当期純利益	409	805	+396	+96.7%

2022年度 第1四半期（4-6月）の各セグメント売上高と利益

- ・建設機械・車両部門の売上高は、前年同期比+20.4%増収の7,153億円。
セグメント利益は、前年同期比+55.3%増益の833億円。セグメント利益率は+2.6ポイント上昇し11.6%。
- ・リテールファイナンス部門の売上高は、前年同期比▲2.5%減収の199億円。セグメント利益は前年同期比+139.9%増益の77億円。
- ・産業機械他部門の売上高は、前年同期比▲15.4%減収の345億円。セグメント利益は前年同期比▲16.1%減益の35億円。

□ : 利益率 () : 外部顧客向け売上高

金額単位：億円	2021年度4-6月		2022年度4-6月		前年同期比			
					増減		増減率	
売上高	6,483		7,638		+1,155		+17.8%	
建設機械・車両	(5,930)	5,943	(7,136)	7,153	(+1,206)	+1,210	(+20.3%)	+20.4%
リテールファイナンス	(148)	205	(163)	199	(+15)	▲ 5	(+10.1%)	▲2.5%
産業機械他	(405)	408	(339)	345	(▲ 66)	▲ 63	(▲16.2%)	▲15.4%
消去	▲ 74		▲ 60		+14		-	
セグメント利益	□ 9.4%	609	□ 12.4%	944	□ +3.0ポイント	+335	+54.9%	
建設機械・車両	□ 9.0%	537	□ 11.6%	833	□ +2.6ポイント	+297	+55.3%	
リテールファイナンス	□ 15.7%	32	□ 38.7%	77	□ +23.0ポイント	+45	+139.9%	
産業機械他	□ 10.3%	42	□ 10.2%	35	□ ▲ 0.1ポイント	▲ 7	▲16.1%	
消去または全社	▲ 2		▲ 2		▲ 0		-	

各セグメントの状況：

■ 建設機械・車両

物量増および販売価格の改善や為替のプラス影響等により増収。販売価格の改善および為替のプラス影響等により増益。

■ リテールファイナンス

為替のプラス影響や、新規取組高の増加があった一方、前年同期に一部リース車を中古車として販売した影響もあり減収。為替のプラス影響や、貸倒引当金の減少等により増益。

■ 産業機械他

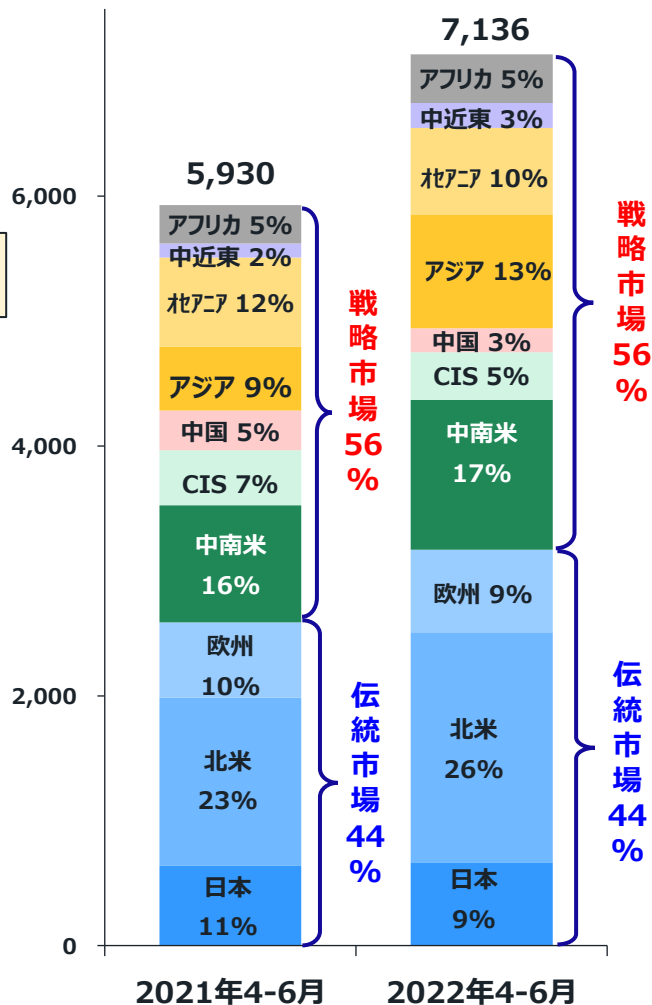
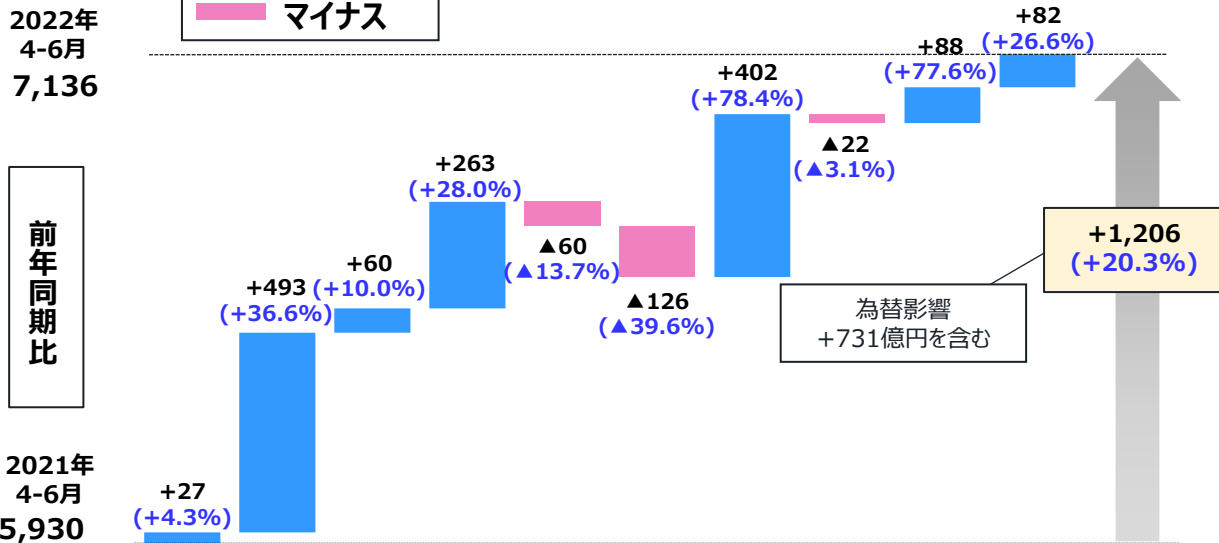
自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、中・大型プレスの上減収等により減収、減益。
半導体産業向けは、エキシマレーザー関連等の売上が好調であったことにより増収、増益。

<建設機械・車両> 2022年度 第1四半期（4-6月）の地域別売上高（外部顧客向け）

- ・外部顧客向け売上高は前年同期比+20.3%増収の7,136億円。
- ・北米、アジア、中南米で大きく増加。
- ・戦略市場の比率は56%、伝統市場の比率は44%。

■ プラス
■ マイナス

（金額単位：億円）



(億円)	日本	北米	欧州	中南米	CIS	中国	アジア	オセアニア	中近東	アフリカ	合計
2021年 4-6月	639	1,348	601	937	441	317	512	713	113	308	5,930
2022年 4-6月	667	1,841	661	1,200	381	192	914	690	201	390	7,136
増減	+27	+493	+60	+263	▲60	▲126	+402	▲22	+88	+82	+1,206

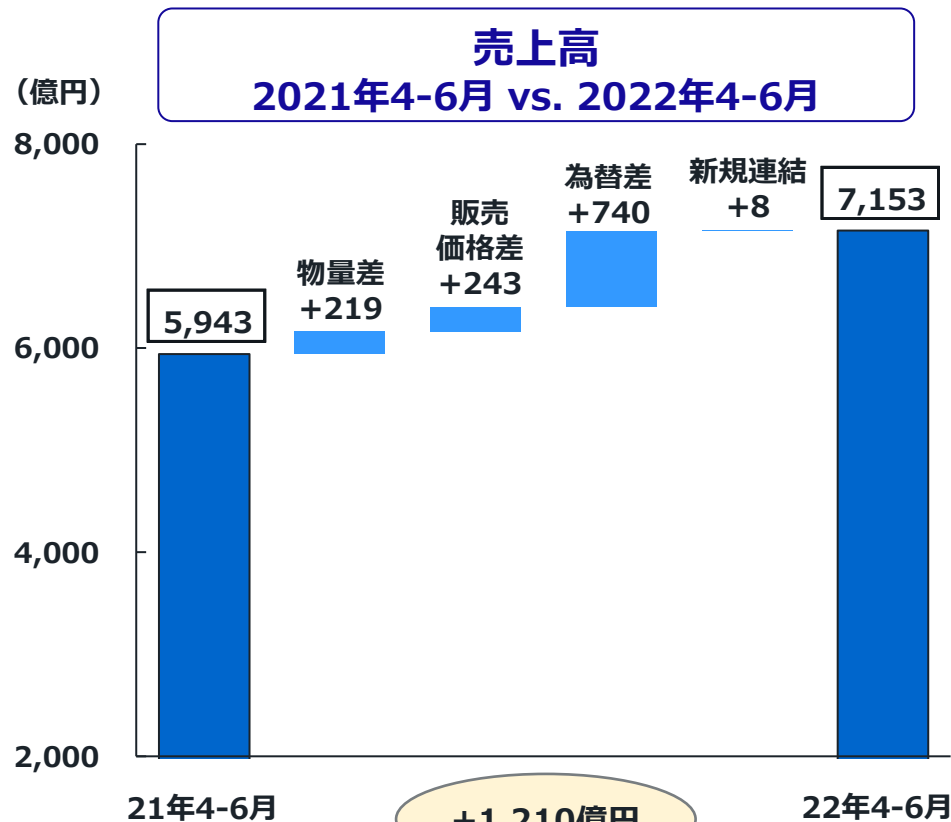
伝統市場

戦略市場

※ 為替影響を除くベースでプラスの地域

<建設機械・車両> 2022年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益の増減要因

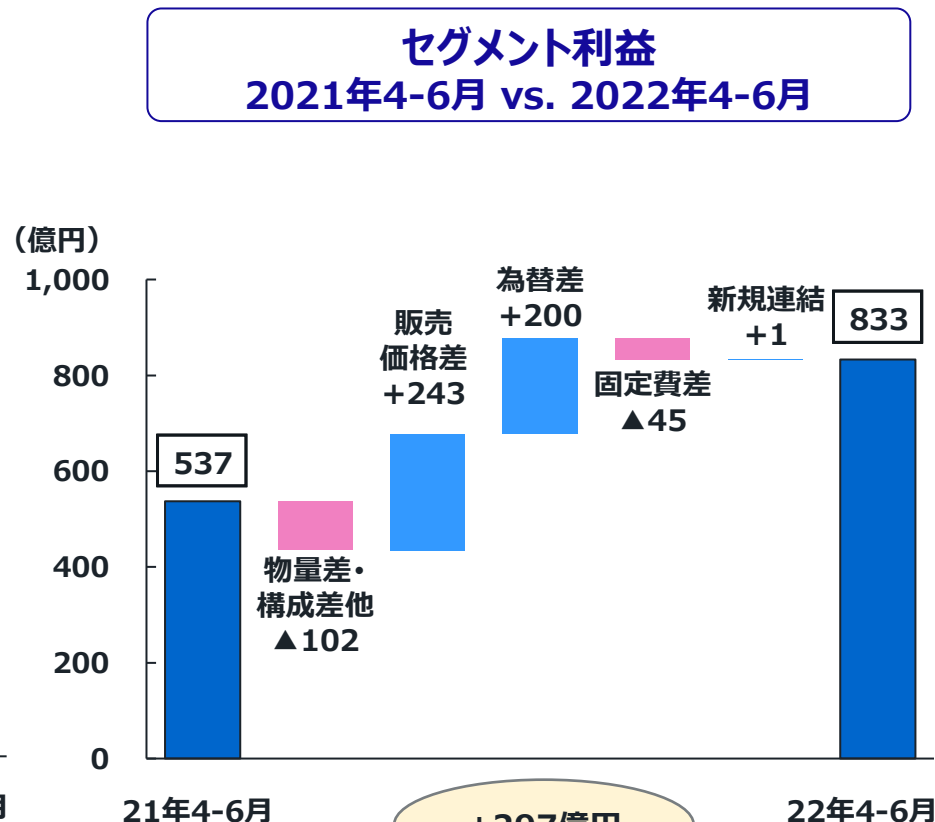
- ・売上高は、物量増および販売価格の改善や為替のプラス影響等により、前年同期比+1,210億円の増収。
- ・セグメント利益は、販売価格および為替のプラス影響等により、前年同期比+297億円の増益。
- ・売上高セグメント利益率は前年同期比+2.6ポイント上昇し11.6%。



¥109.9/USD
¥131.7/EUR
¥84.5/AUD

■ プラス要因
■ マイナス要因

¥127.1/USD
¥136.9/EUR
¥92.0/AUD



9.0%

■ プラス要因
■ マイナス要因

売上高セグメント利益率

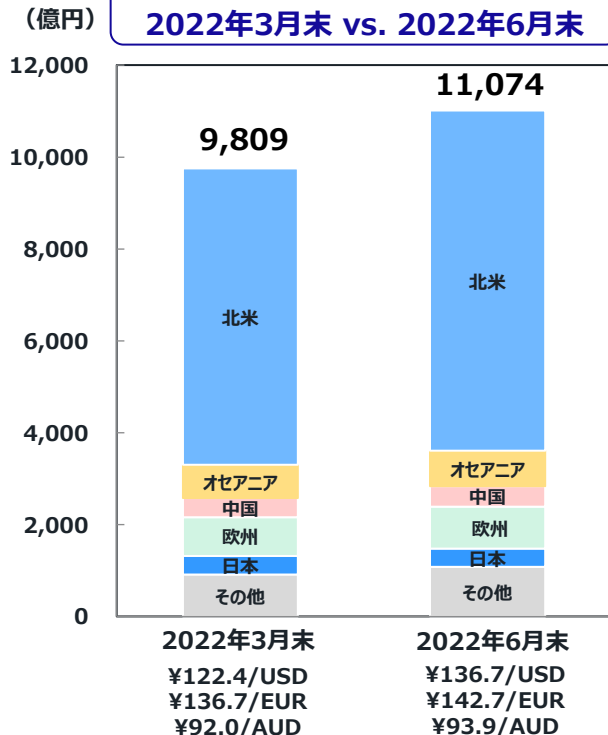
11.6%

<リテールファイナンス> 2022年度 第1四半期（4-6月）の状況

- ・資産は、主に為替の影響により、前年度末比増加。
- ・新規取組高は、建設機械・車両の販売増に伴い、前年同期比増加。
- ・売上高は、為替のプラス影響や、新規取組高の増加があった一方、前年同期に一部リース車を中古車として販売した影響もあり、前年同期比▲5億円の減収。
- ・セグメント利益は、為替のプラス影響や、貸倒引当金の減少等により、前年同期比+45億円の増益。

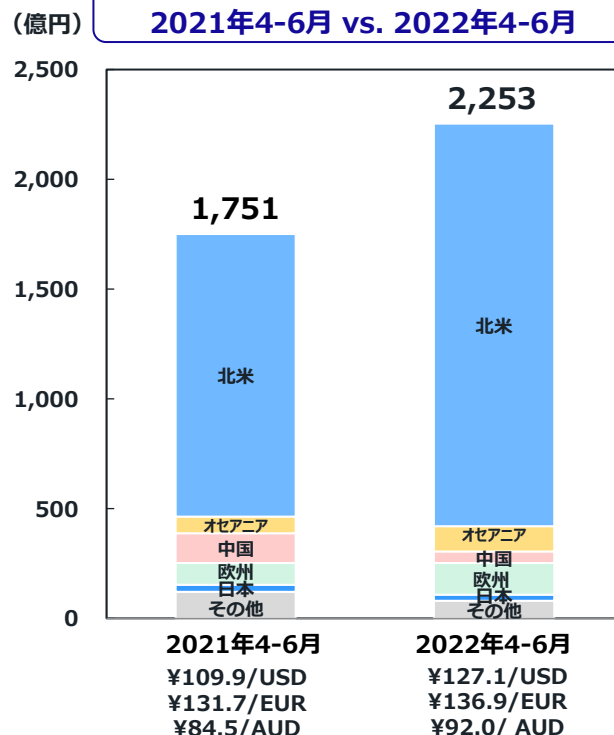
資産

2022年3月末 vs. 2022年6月末



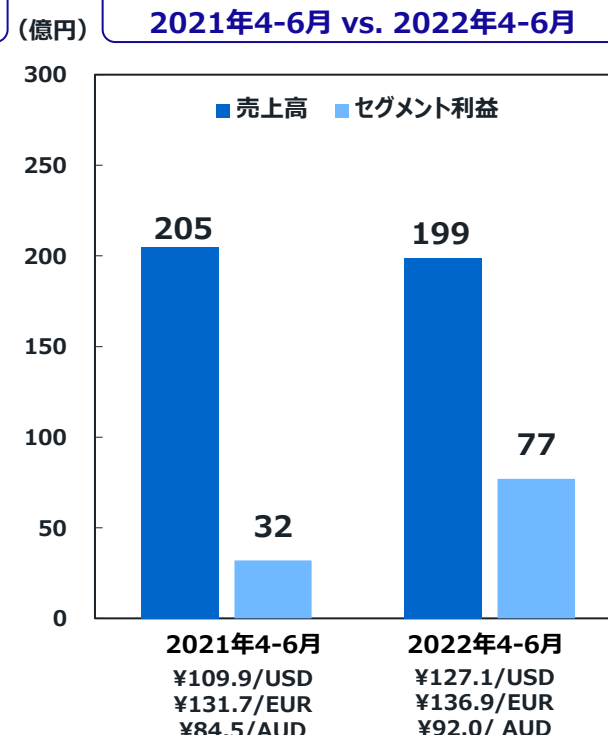
新規取組高

2021年4-6月 vs. 2022年4-6月



収益

2021年4-6月 vs. 2022年4-6月

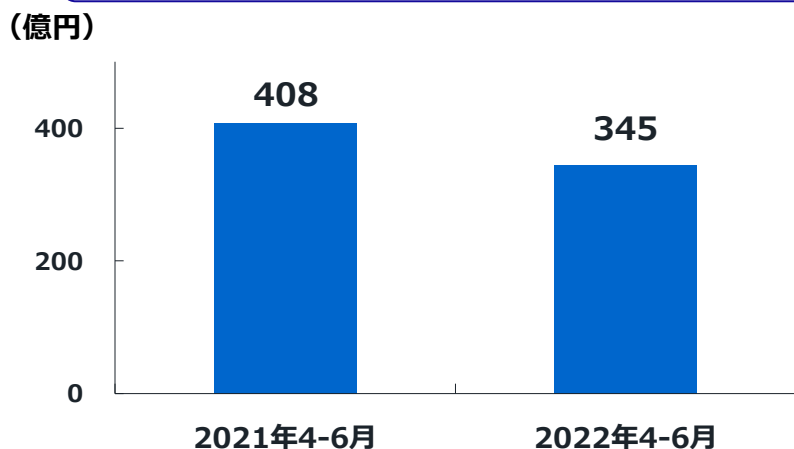


金額単位：億円	2022年3月末	2022年6月末	前年度末比
借入金	7,342	8,394	+1,052
ネットベースの借入金	7,315	8,294	+979
ネットD/レシオ	3.51	3.53	+0.02ポイント

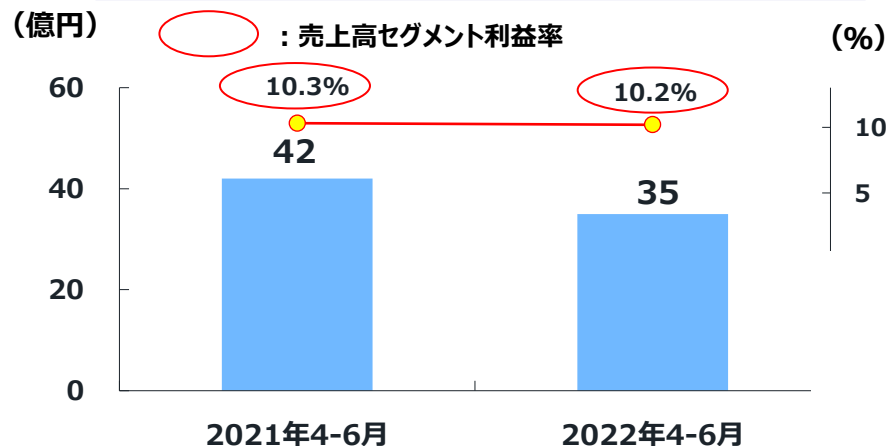
<産業機械他> 2022年度 第1四半期（4-6月）の売上高とセグメント利益

- ・売上高は、前年同期比▲15.4%減収の345億円、セグメント利益は、前年同期比▲16.1%減益の35億円。
- ・自動車産業向けの鍛圧機械、工作機械は、中・大型プレスの上減等により減収、減益。
- ・半導体産業向けは、エキシマレーザー関連等の売上が好調で増収、増益。
- ・売上高セグメント利益率は10.2%。

売上高
2021年4-6月 vs. 2022年4-6月



セグメント利益
2021年4-6月 vs. 2022年4-6月



売上高の内訳

(億円)	2021年4-6月	2022年4-6月	前年同期比	
			増減	増減率
コマツ産機	126	73	▲53	▲42.0%
コマツNTC	68	51	▲17	▲24.6%
ギガフォトン	127	140	+13	+10.1%
その他	86	80	▲6	▲6.9%
合計	408	345	▲63	▲15.4%

連結貸借対照表

- ・総資産は、前年度末比+4,676億円増加の4兆8,151億円。主に為替の影響により増加。
- ・棚卸資産は、建設機械・車両の需要増への対応等により増加。
- ・株主資本比率は、前年度末比+0.6ポイント低下し50.8%。

金額単位：億円 ○：ネットD/Eレシオ	2022年3月末 ¥122.4/USD ¥136.7/EUR ¥92.0/AUD	2022年6月末 ¥136.7/USD ¥142.7/EUR ¥93.9/AUD	増減
現金・預金（含む定期預金） [a]	3,167	3,846	+680
受取手形・売掛金（含む長期売上債権）	14,564	15,741	+1,176
棚卸資産	9,880	11,746	+1,866
有形固定資産	8,197	8,522	+324
その他資産	7,666	8,296	+629
資産合計	43,475	48,151	+4,676
支払手形・買掛金	3,390	3,474	+85
借入金・社債 [b]	9,474	11,639	+2,165
その他負債	7,049	7,304	+256
負債合計	19,912	22,417	+2,505
（株主資本比率）	（51.4%）	（50.8%）	（▲0.6ポイント）
株主資本	22,325	24,453	+2,128
非支配持分	1,238	1,281	+43
負債及び純資産合計	43,475	48,151	+4,676
ネットベースの借入金・社債 [b-a]	0.28 6,307	0.32 7,792	+1,485
ネットD/Eレシオ（リテールファイナンス会社を除いた場合）	▲0.05	▲0.02	

Ⅱ.2022年度の業績見通し

2022年度の業績見通し（概要）

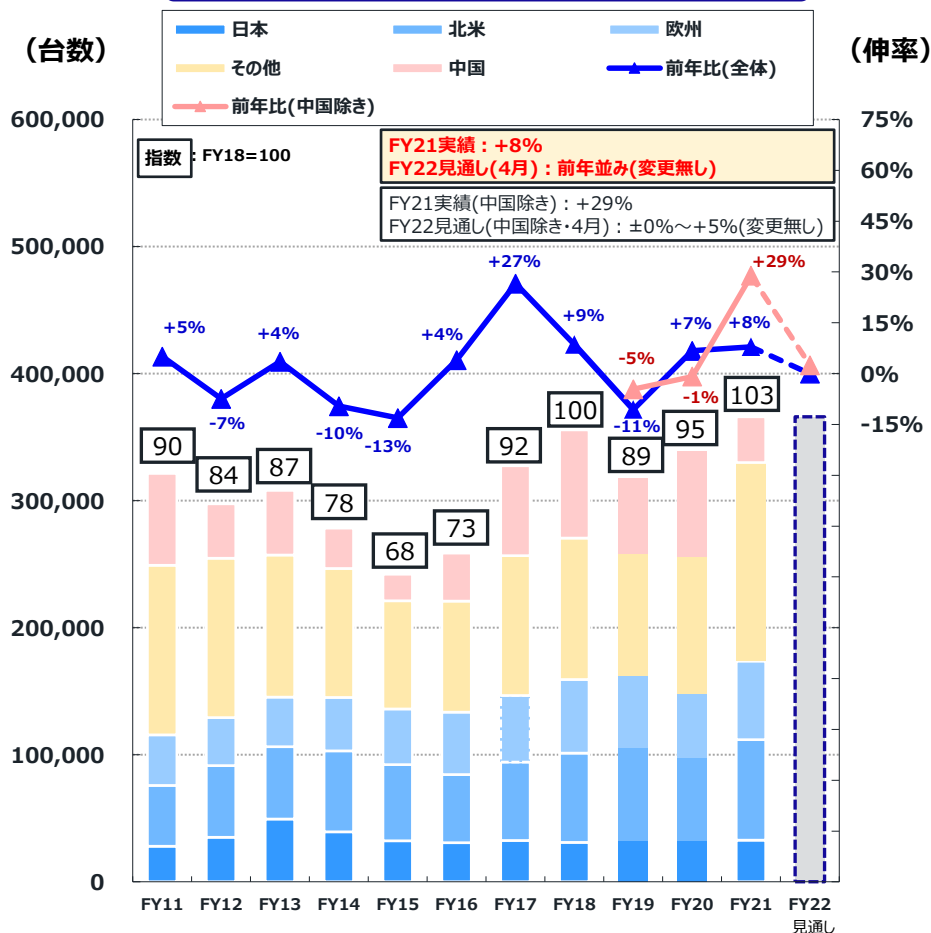
- 2022年度の業績見通しは、前回の見通し（4月）から変更なし。

金額単位：億円	2021年度 ¥112.1/USD ¥130.4/EUR ¥82.7/AUD	2022年度 (見通し) ¥118.0/USD ¥129.0/EUR ¥88.0/AUD	前年比	
			増減	増減率
連結売上高	28,023	30,000	+1,977	+7.1%
セグメント利益	3,155	3,490	+335	+10.6%
その他の営業収益(▲費用)	15	▲ 30	▲ 45	-
営業利益	3,170	3,460	+290	+9.1%
売上高営業利益率	11.3%	11.5%	+0.2ポイント	-
その他の収益(▲費用)	76	▲ 125	▲ 201	-
税引前純利益	3,246	3,335	+89	+2.8%
当社株主に帰属する当期純利益	2,249	2,260	+11	+0.5%
ROE	10.9%	10.0%	▲0.9ポイント	
1株当たり配当金（円）	96円	96円	±0円	
連結配当性向	40.3%	40.2%		

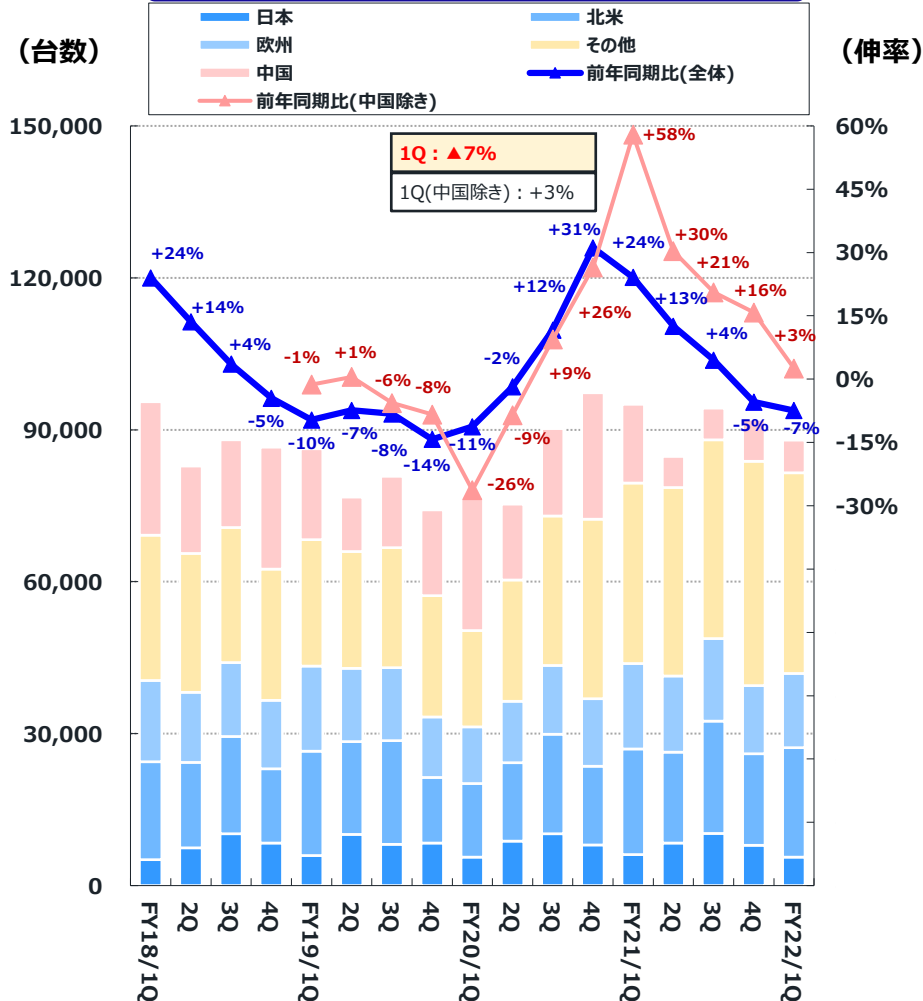
<建設機械・車両> 主要7建機の需要推移と見通し

- ・2022年度の第1四半期の需要は、前年同期比▲7%の減少、中国を除く地域では前年同期比+3%の増加。
- ・2022年度の需要は、前年並み、中国を除く地域では前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移



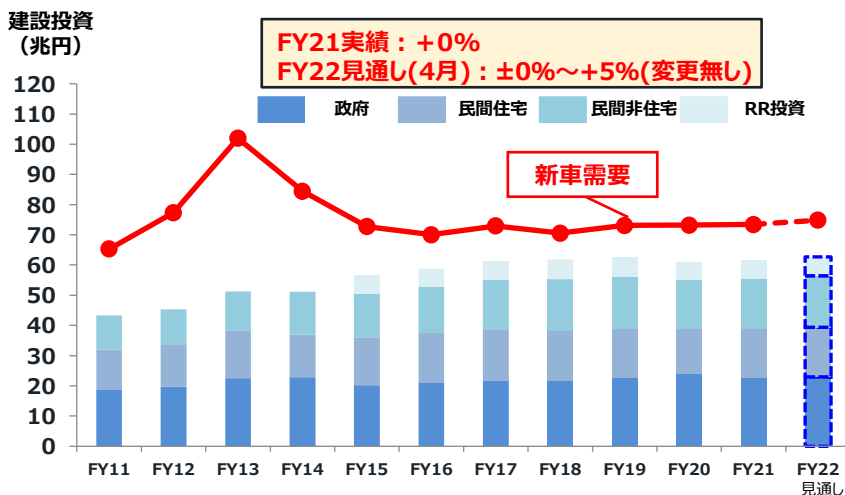
主要7建機 四半期別需要推移



<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：①日本

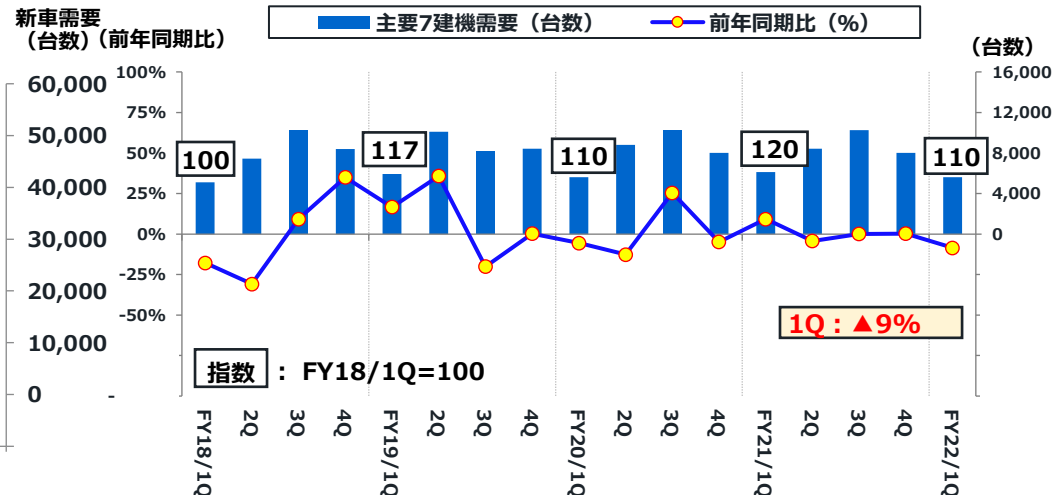
- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比▲9%の減少。公共工事、民間工事向け共に受注は堅調であったが、サプライチェーンの混乱による影響で供給が伸びず、需要は減少。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

新車需要（主要7建機）と建設投資

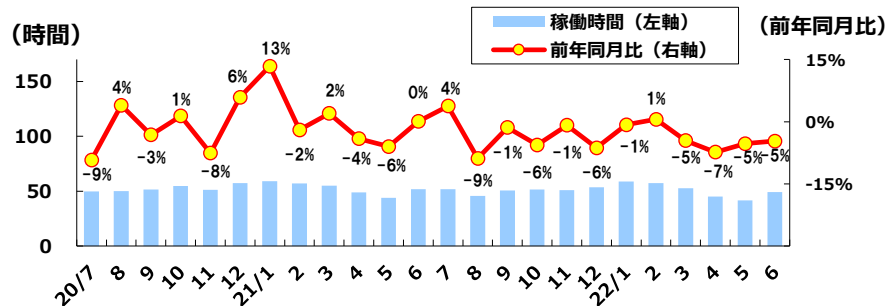


【出所】主要7建機需要：コマツの推定 建設投資：国土交通省／建設経済研究所

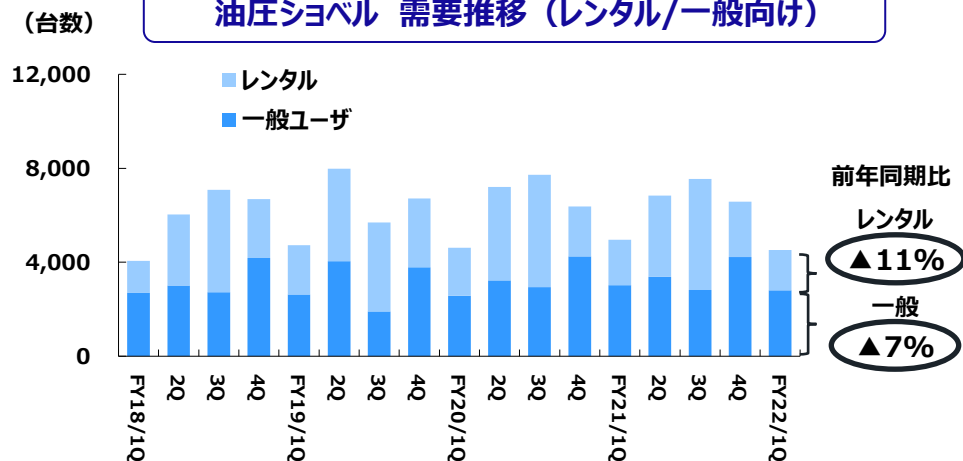
主要7建機 四半期別需要推移



Komtrax（日本）月平均稼働時間推移



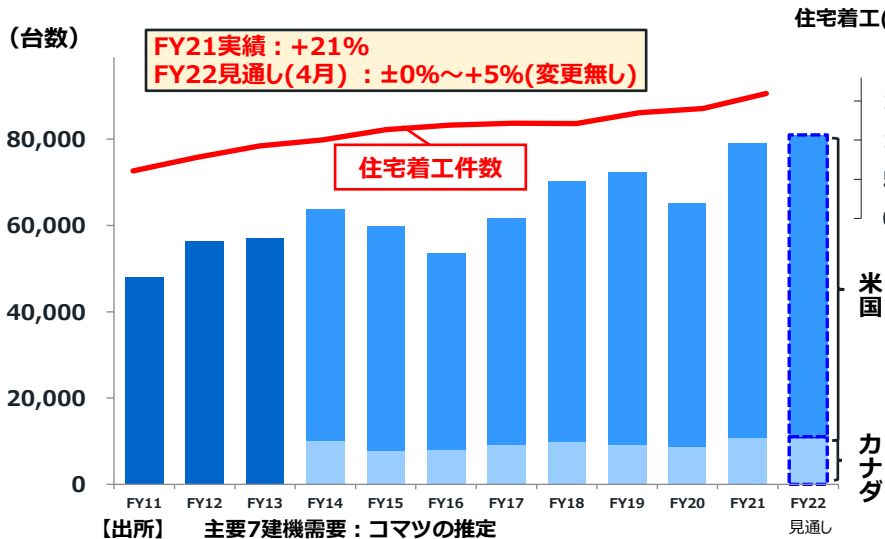
油圧ショベル 需要推移（レンタル/一般向け）



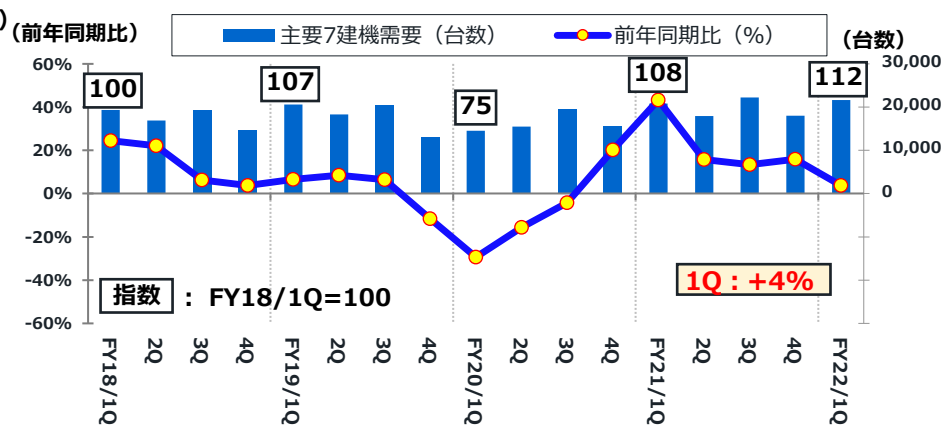
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：②北米

- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比+4%の増加。住宅・非住宅、道路交通向けを中心に需要が増加、レンタル向けも回復が続く。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

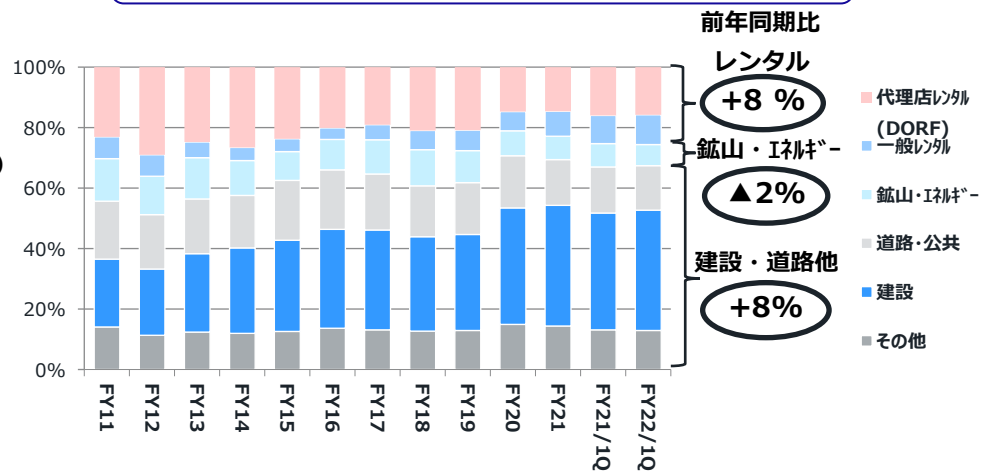
主要7建機 需要推移と住宅着工件数



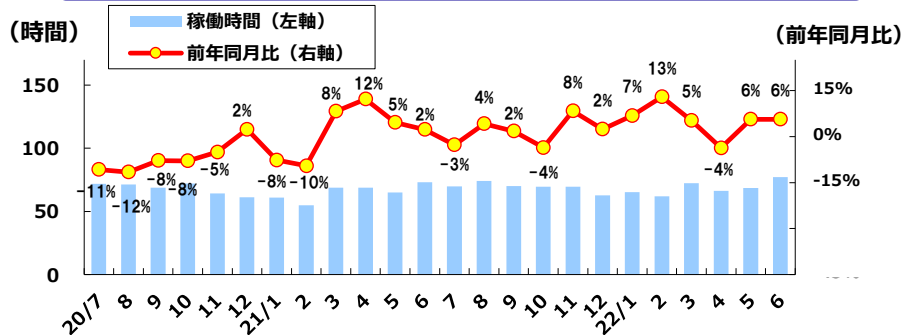
主要7建機 四半期需要推移



セグメント別需要構成比 (台数ベース)



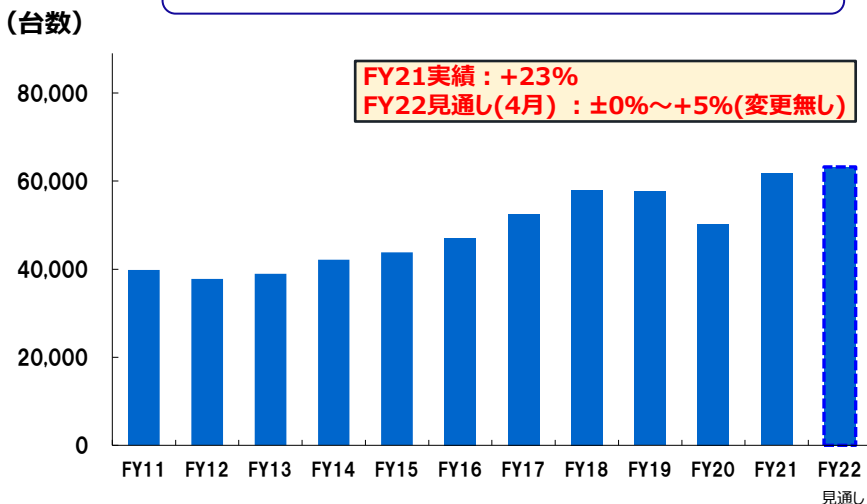
Komtrax (北米) 月平均稼働時間推移



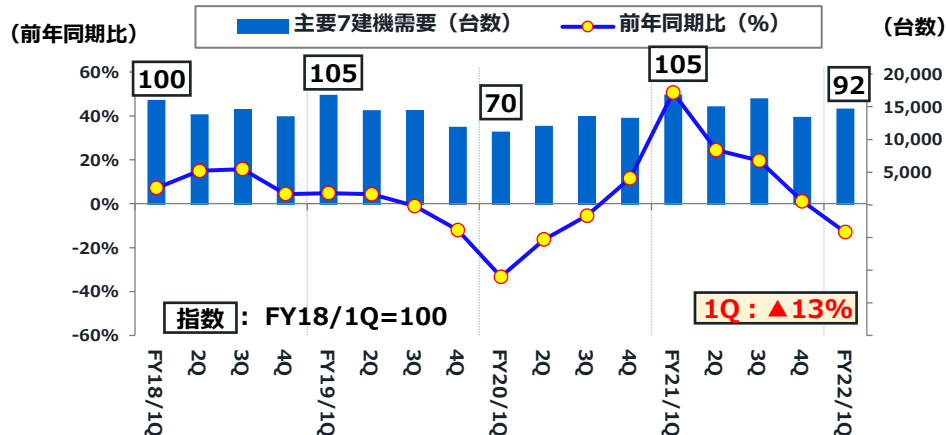
＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し： ③ 欧州

- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比▲13%の減少。サプライチェーンの混乱による影響で供給が伸びず、ドイツ、英国、フランスを中心に需要が減少。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～+5%の見通し（4月見通しから変更無し）。

主要7建機 年度別需要推移

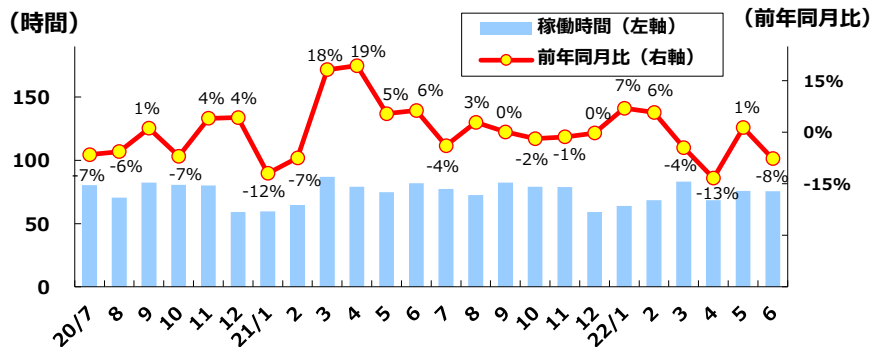


主要7建機 四半期需要推移

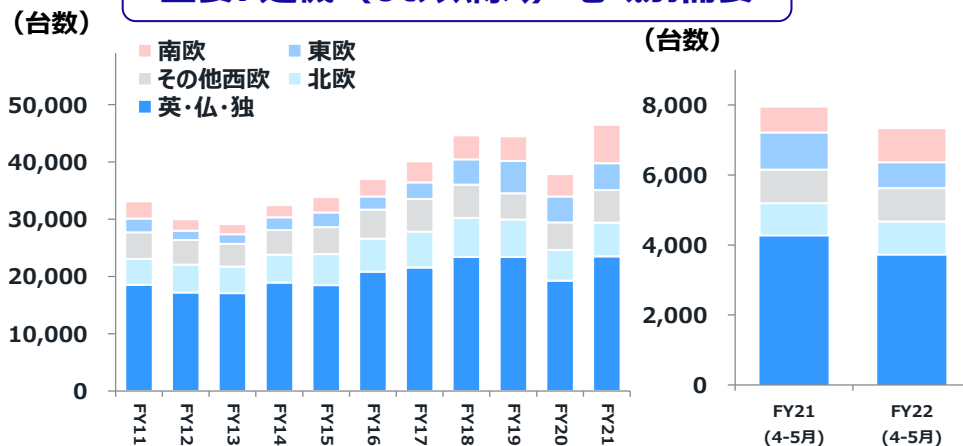


【出所】 主要7建機需要：コマツの推定

Komtrax (欧州) 月平均稼働時間推移



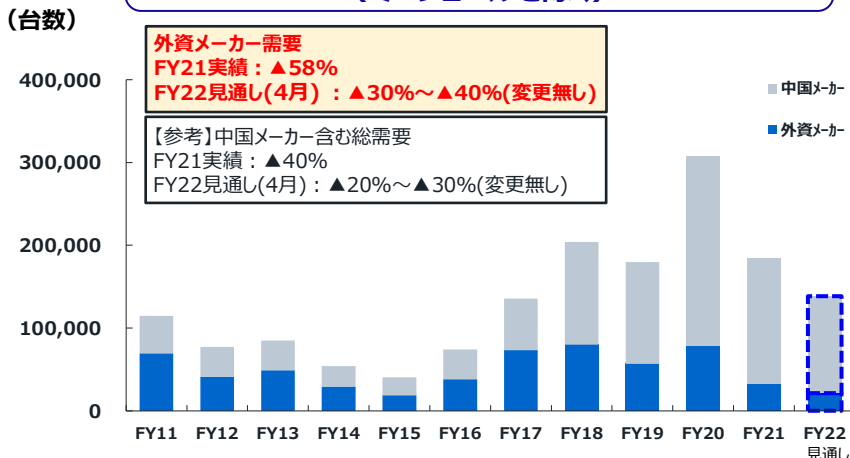
主要7建機 (6tクラス除く) 地域別需要



＜建設機械・車両＞ 主要市場の需要推移と見通し：④ 中国

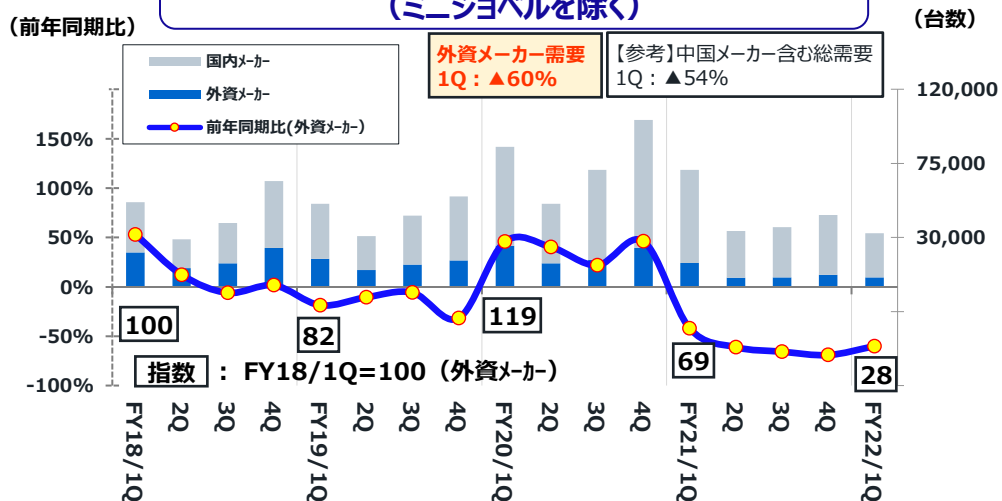
- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比▲60%の減少。経済活動の停滞に加え、新型コロナウイルス感染再拡大によるロックダウンなどの影響により、需要は大幅に減少。
- ・2022年度の需要は、前年比▲30%～▲40%の見通し（4月見通しから変更無し）。

油圧ショベル 年度別需要推移 (ミニショベルを除く)

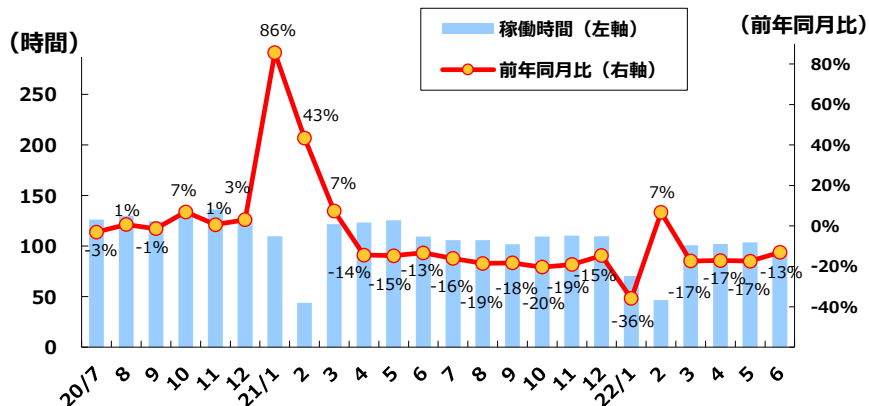


【出所】油圧ショベル需要：コマツの推定

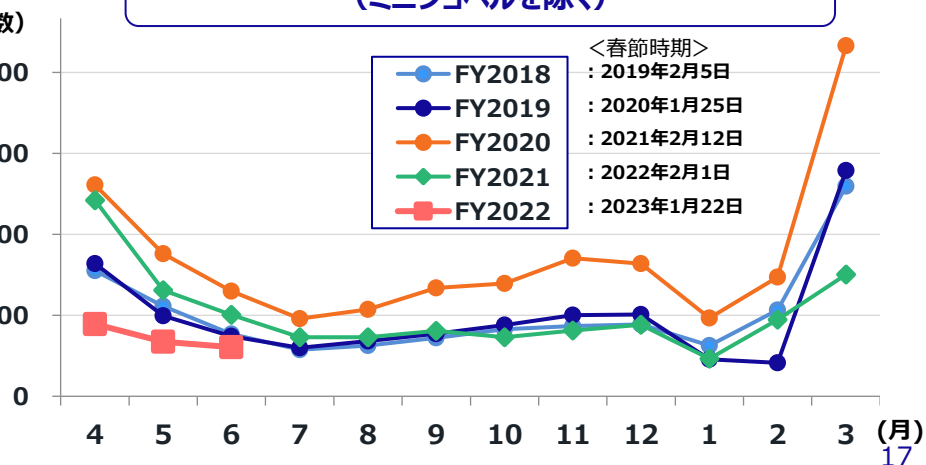
油圧ショベル 四半期需要推移 (ミニショベルを除く)



Komtrax (中国) 月平均稼働時間推移



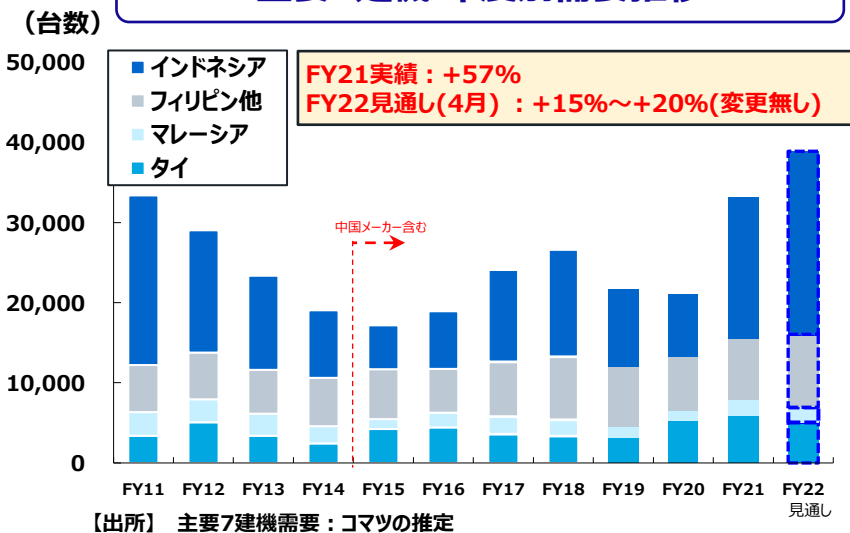
中国：油圧ショベルの月別需要推移 (ミニショベルを除く)



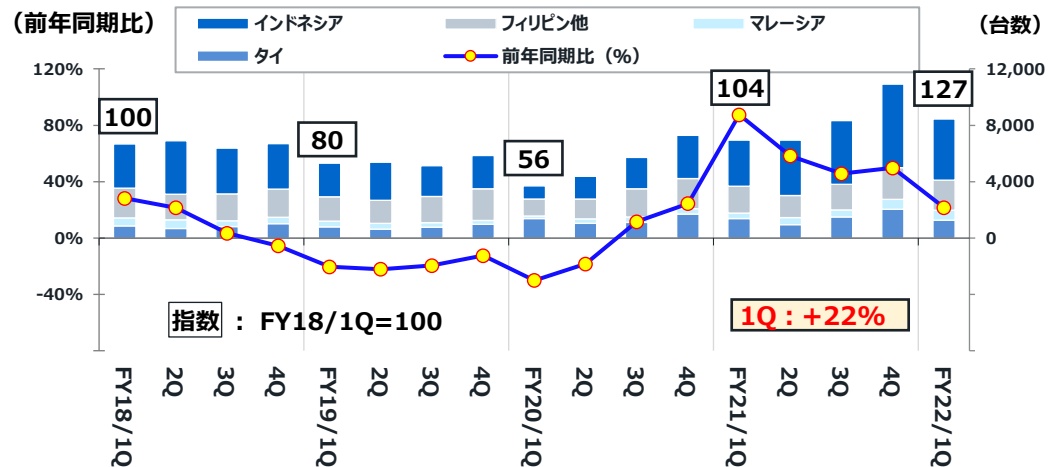
<建設機械・車両> 主要市場の需要推移と見通し：⑤ 東南アジア

- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比+22%の増加。最大市場のインドネシアやマレーシアなどで需要が増加。
- ・2022年度の需要は、前年比+15%~+20%の見通し（4月見通しから変更無し）。

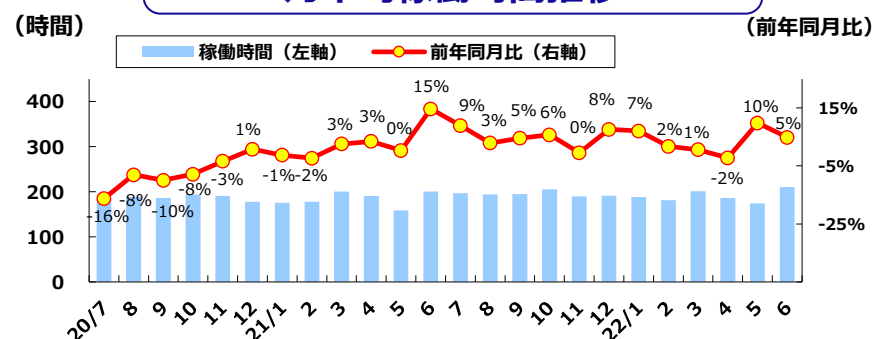
主要7建機 年度別需要推移



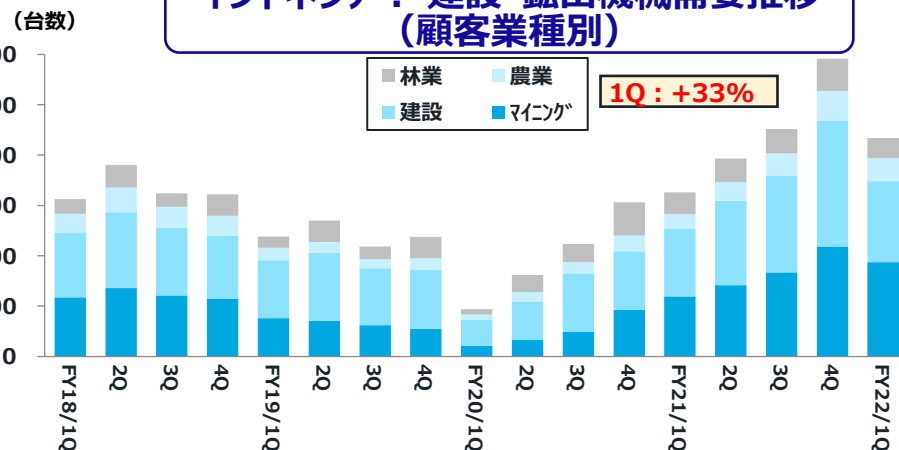
主要7建機 四半期需要推移



Komtrax (インドネシア) 月平均稼働時間推移



インドネシア：建設・鉱山機械需要推移 (顧客業種別)

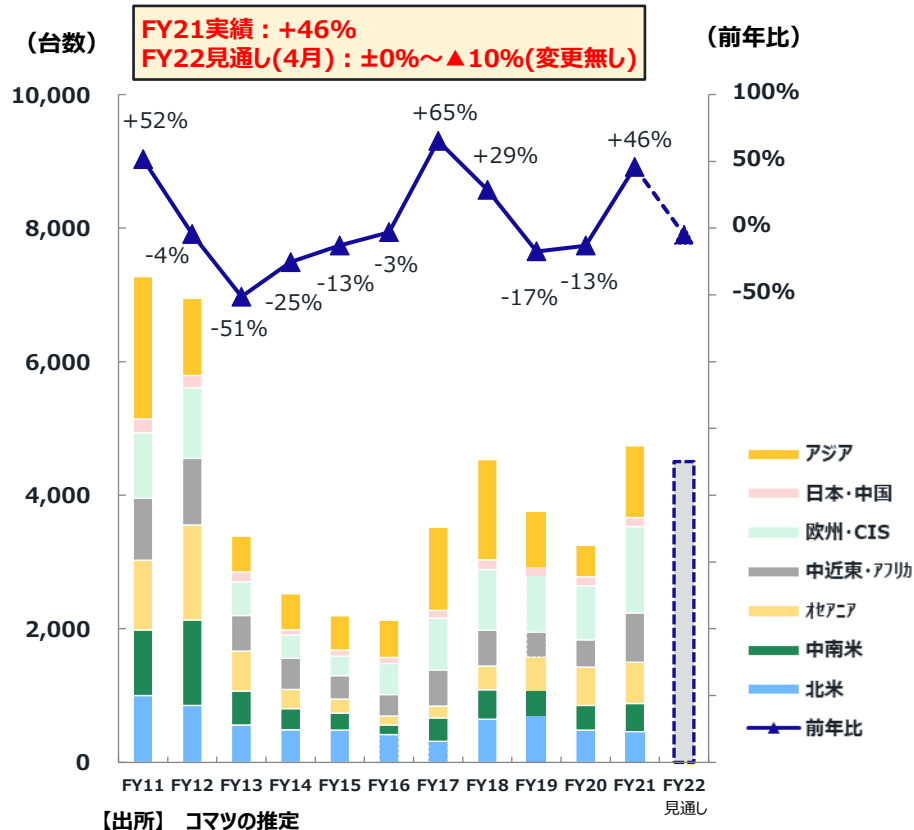


＜建設機械・車両＞ 鉱山機械の需要推移と見通し

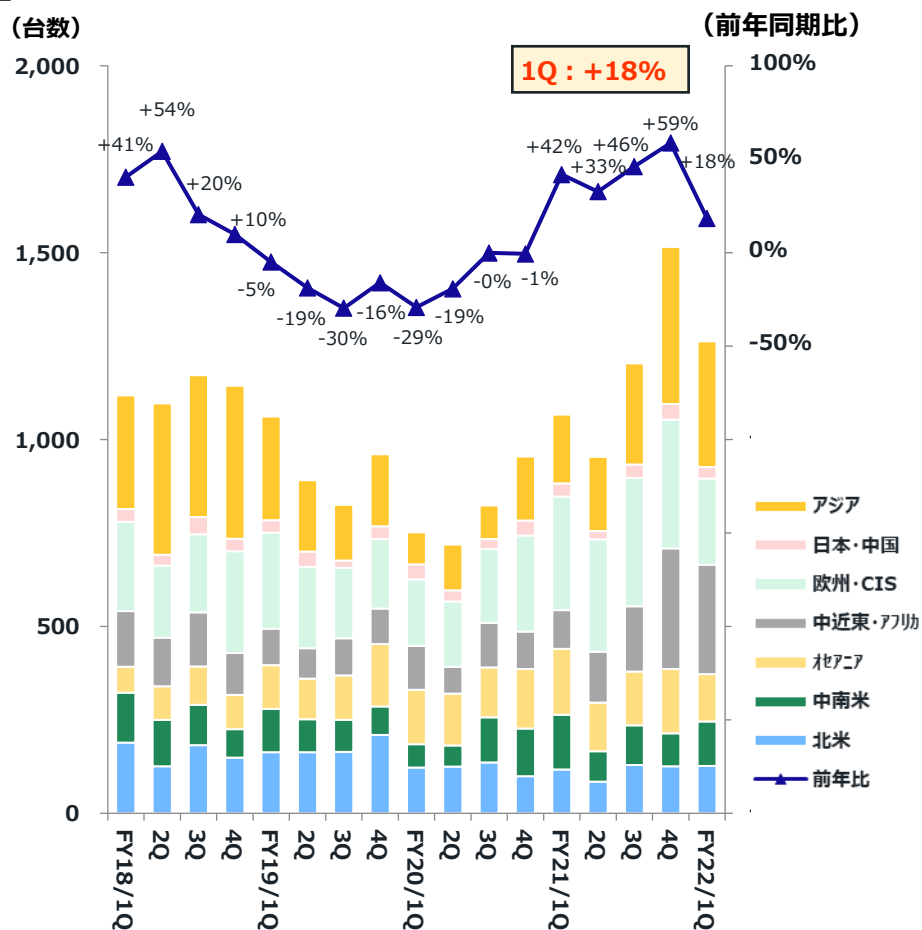
- ・2022年度第1四半期の需要は、前年同期比+18%の増加。CISは需要が減少、インドネシアなどアジアで需要が大きく増加。
- ・2022年度の需要は、前年比±0%～▲10%の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別需要推移

- ・ダンプトラック：75 t（HD785）以上
- ・フルトラクター：525HP（D375）以上
- ・エクスカベータ：200 t（PC2000）以上
- ・ホイローラダー（機械駆動）：810HP（WA800）以上
- ・モーターラダー：280HP（GD825）以上



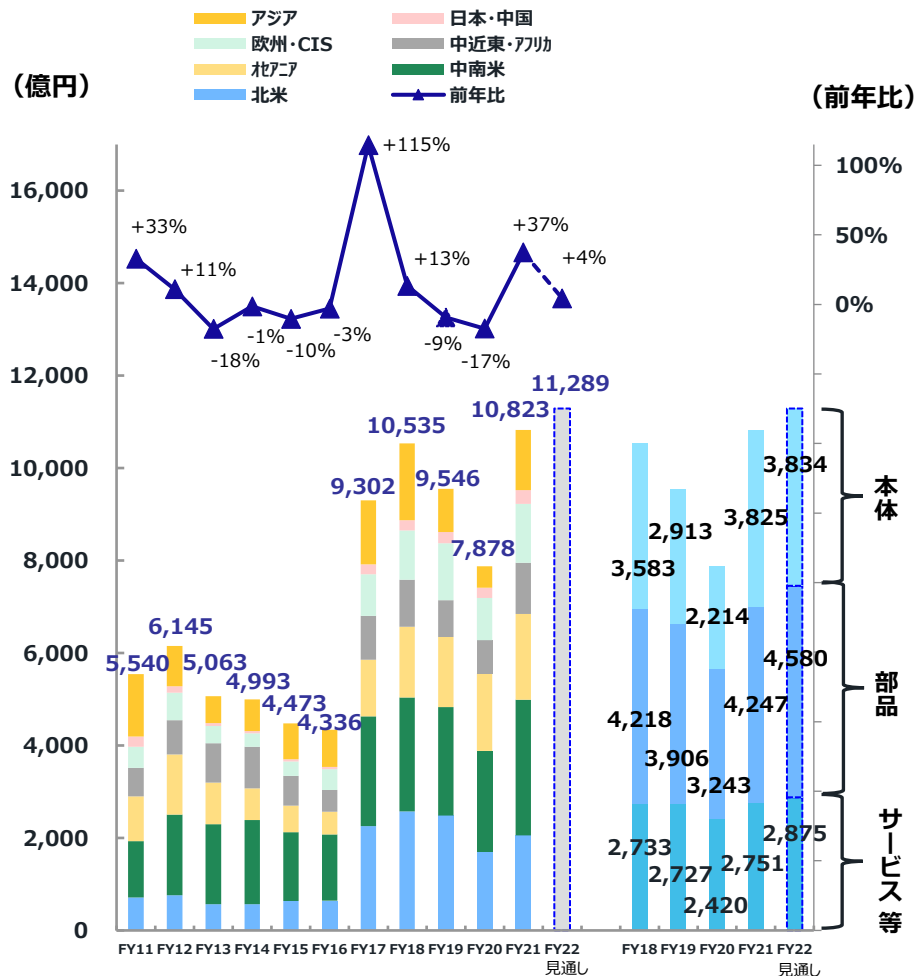
鉱山機械 四半期別需要推移



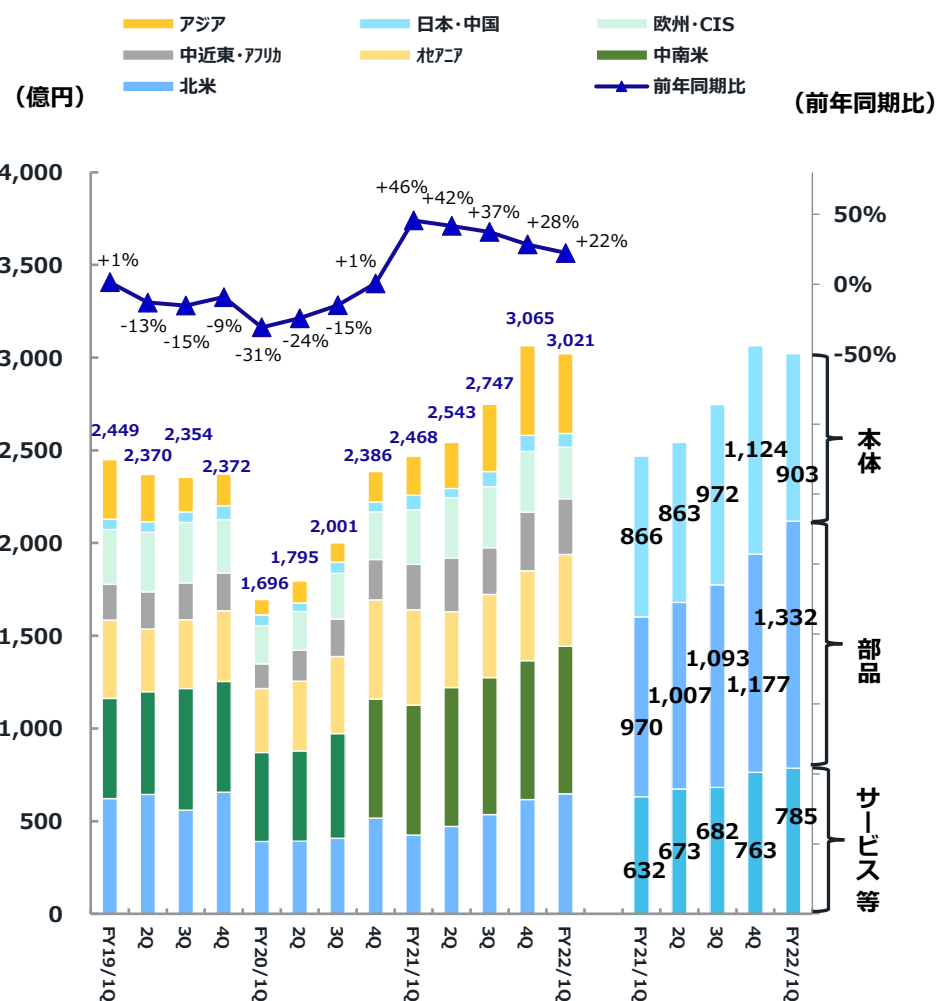
<建設機械・車両> 鉱山機械の売上高の見通し

- ・2022年度第1四半期の売上高は、前年同期比+22%増収の3,021億円。
- ・2022年度の売上高は、前年比+4%増収の1兆1,289億円の見通し（4月見通しから変更無し）。

鉱山機械 年度別売上高（部品・サービス等含む）



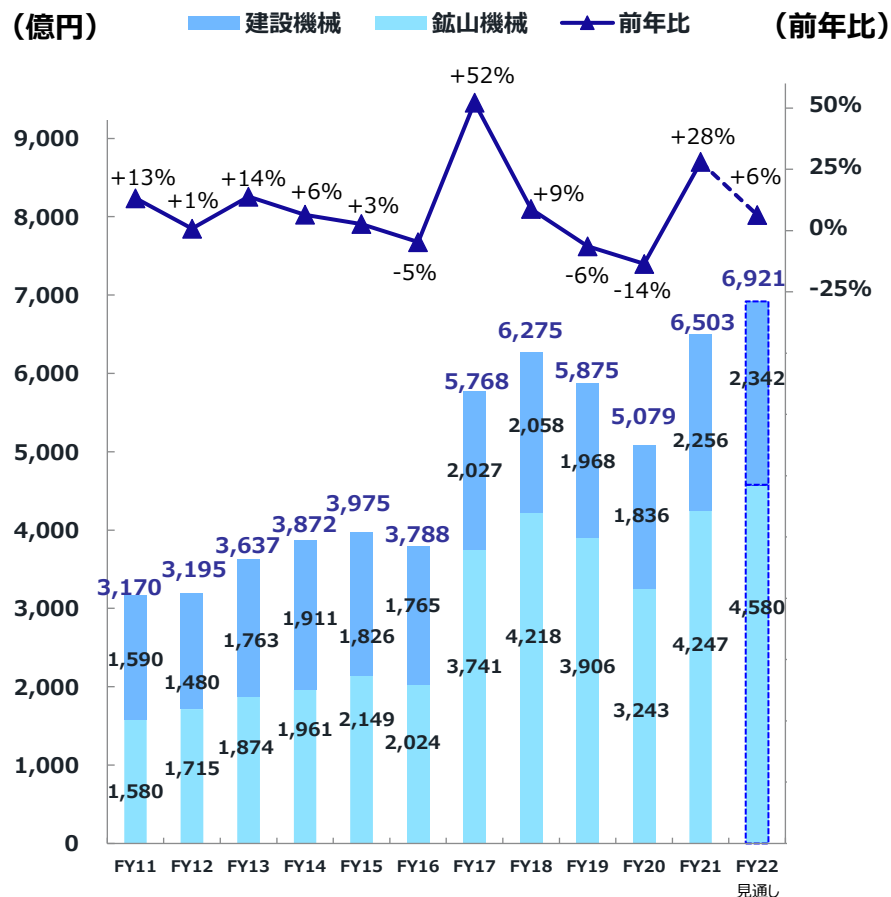
鉱山機械 四半期別売上高（部品・サービス等含む）



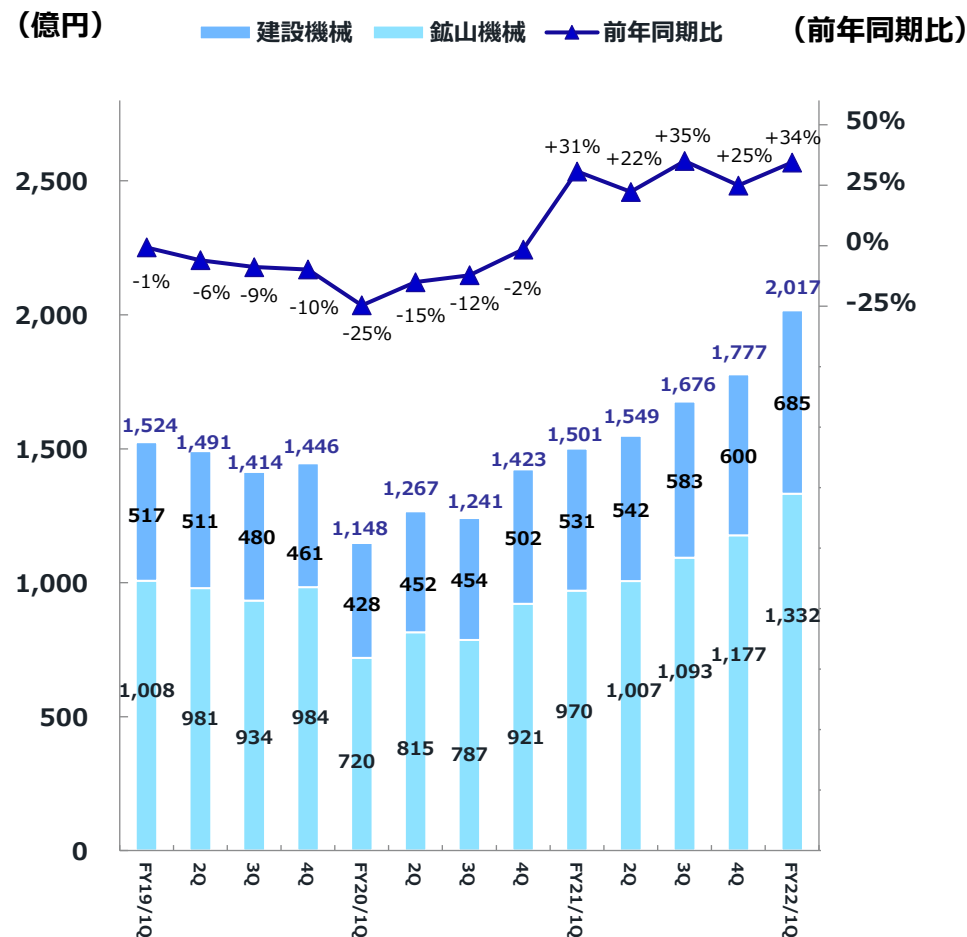
＜建設機械・車両＞ 部品の売上高の見通し

- ・2022年度第1四半期の部品売上高は、前年同期比+34%増収の2,017億円。
- ・2022年度の部品売上高は、前年比+6%増収の6,921億円の見通し（4月見通しから変更無し）。

部品 年度別売上高



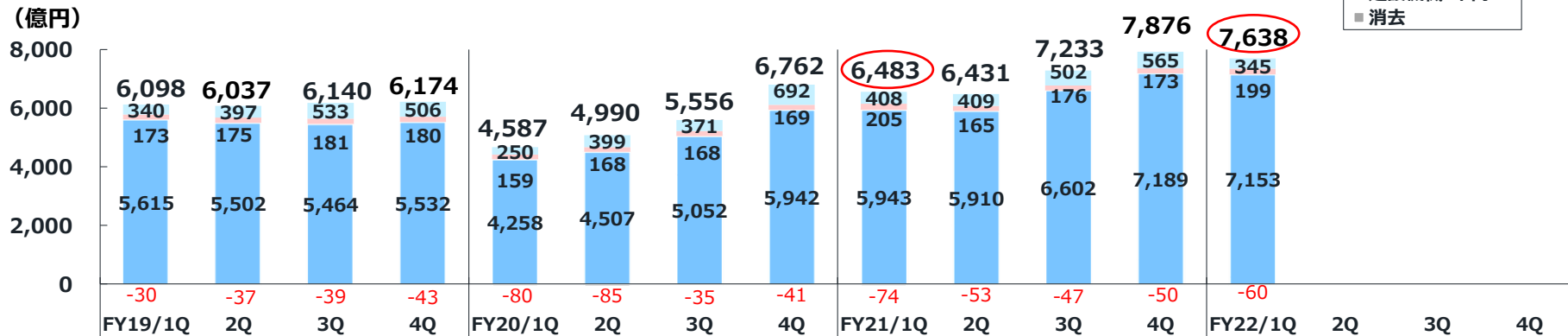
部品 四半期別売上高



参考資料

【参考資料】四半期毎の売上高と営業利益の推移

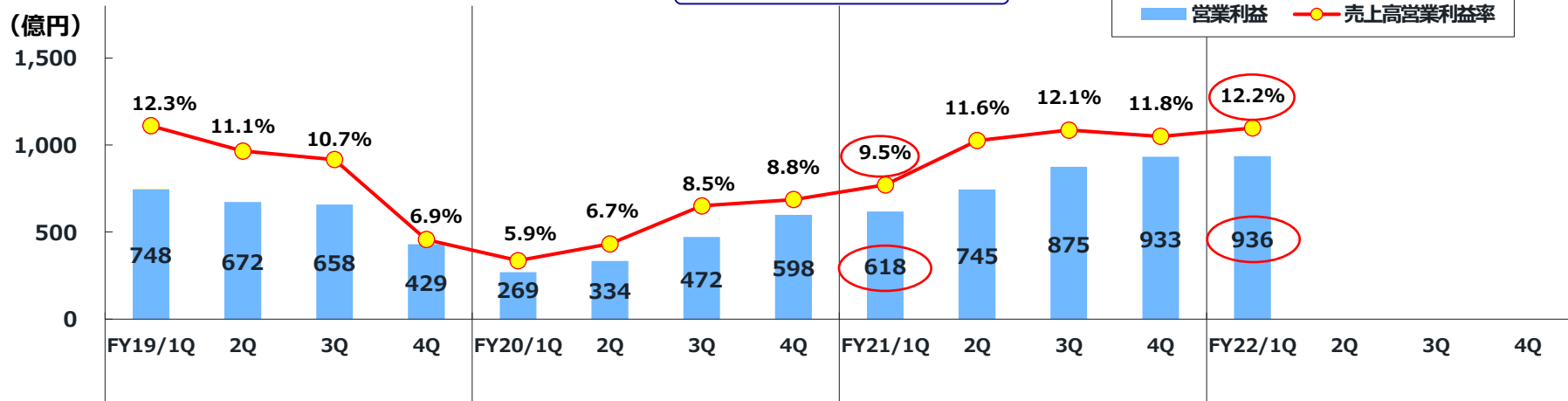
連結売上高



為替
レート

	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1			
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9			
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0			

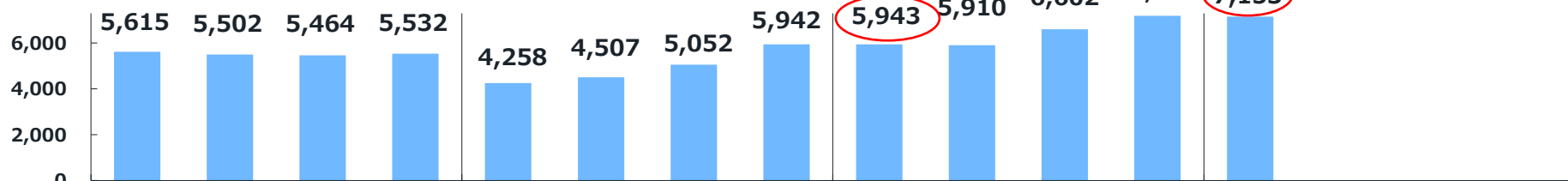
営業利益



【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

売上高

(億円)



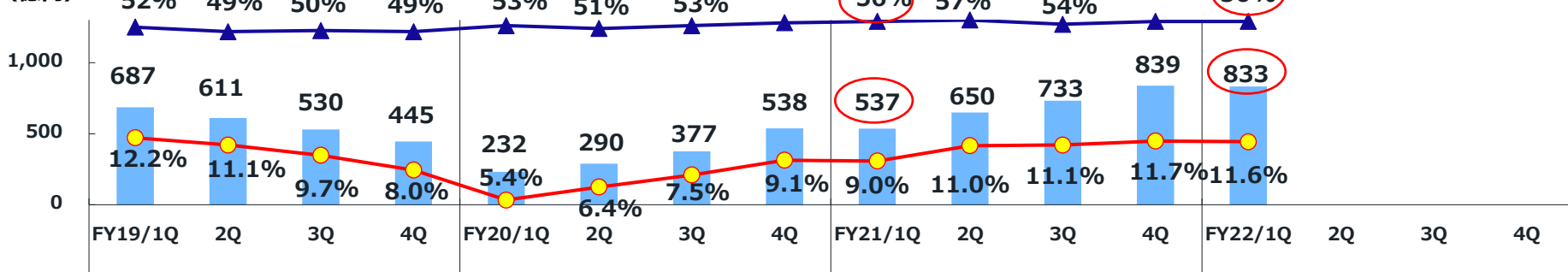
為替
レート

¥/USD
¥/EUR
¥/AUD

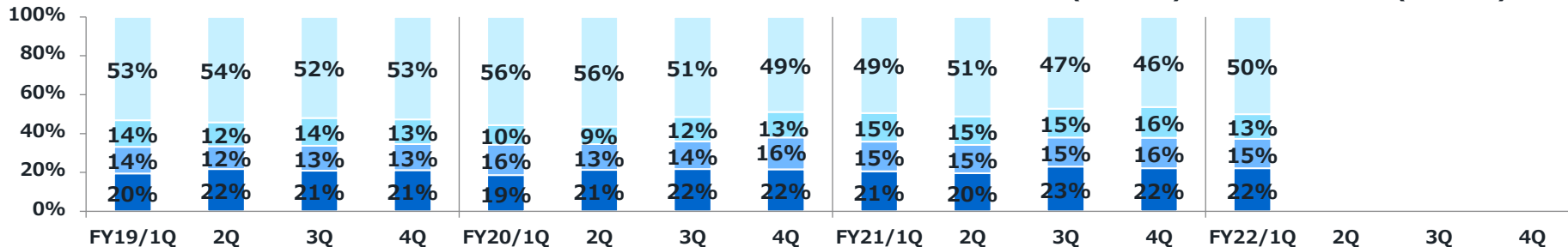
	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1			
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9			
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0			

セグメント利益

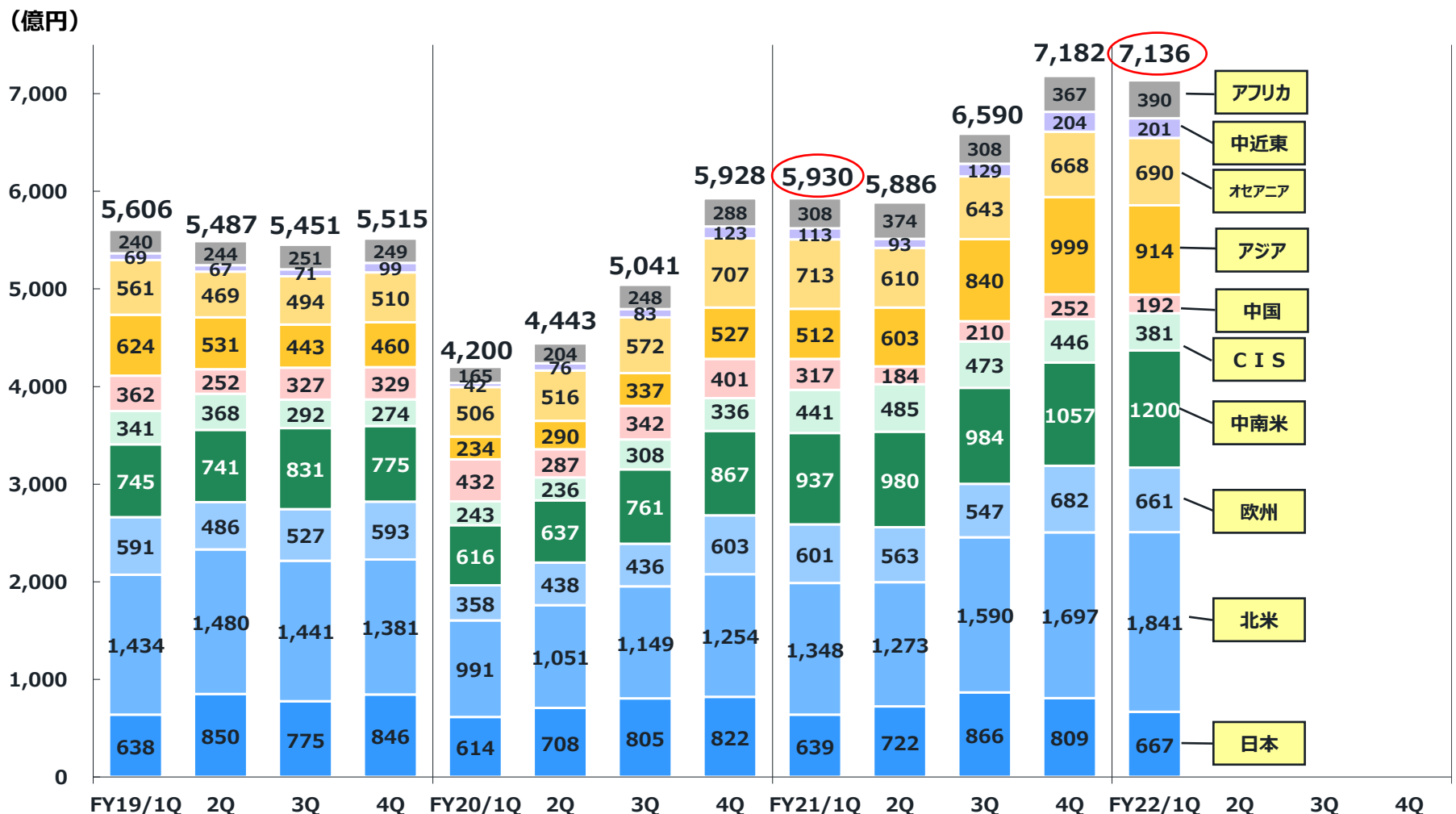
(億円)



売上高構成比



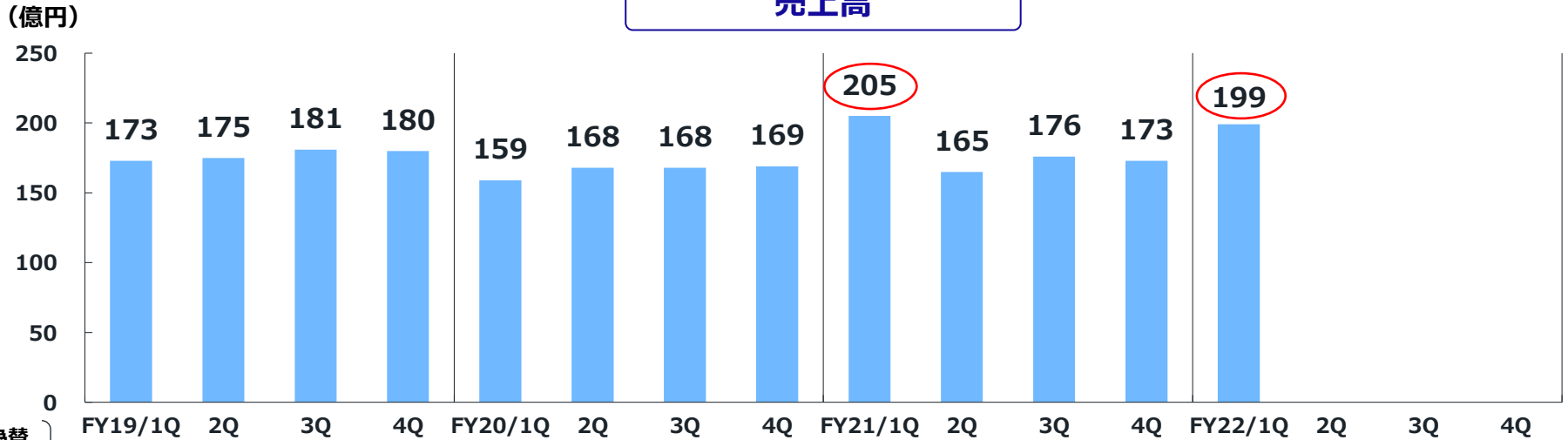
【参考資料】＜建設機械・車両＞ 四半期毎の地域別売上高（外部顧客向け）



為替レート	FY19				FY20				FY21				FY22			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1			
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9			
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0			

【参考資料】<リテールファイナンス> 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

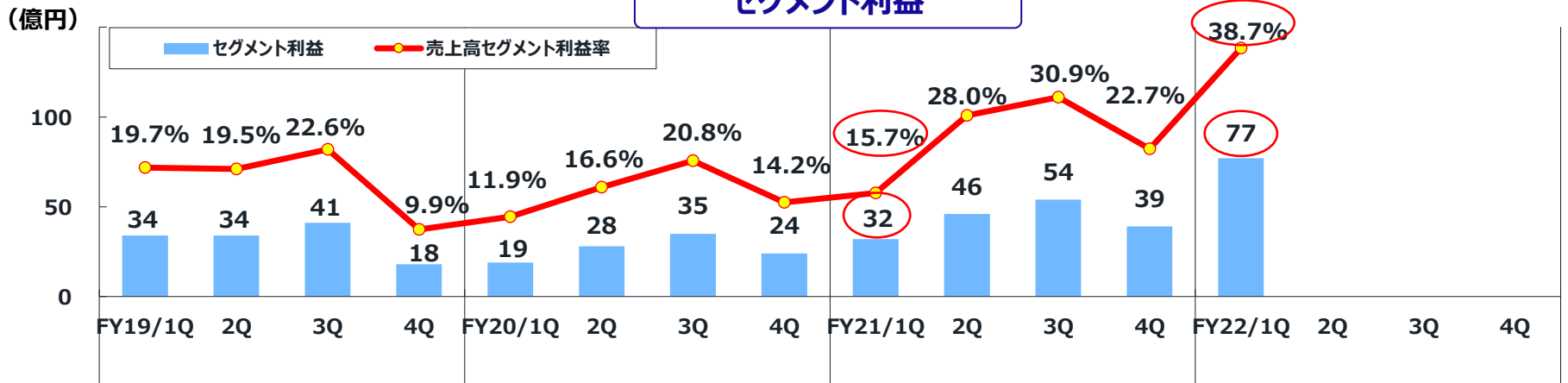
売上高



為替
レート

	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1			
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9			
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0			

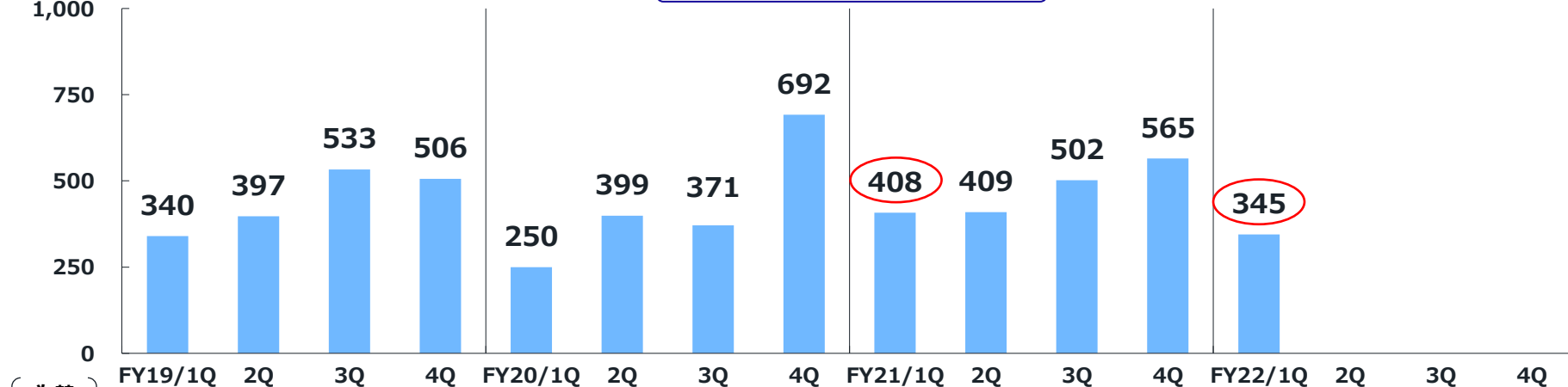
セグメント利益



【参考資料】＜産業機械他＞ 四半期毎の売上高とセグメント利益の推移

(億円)
1,000

売上高

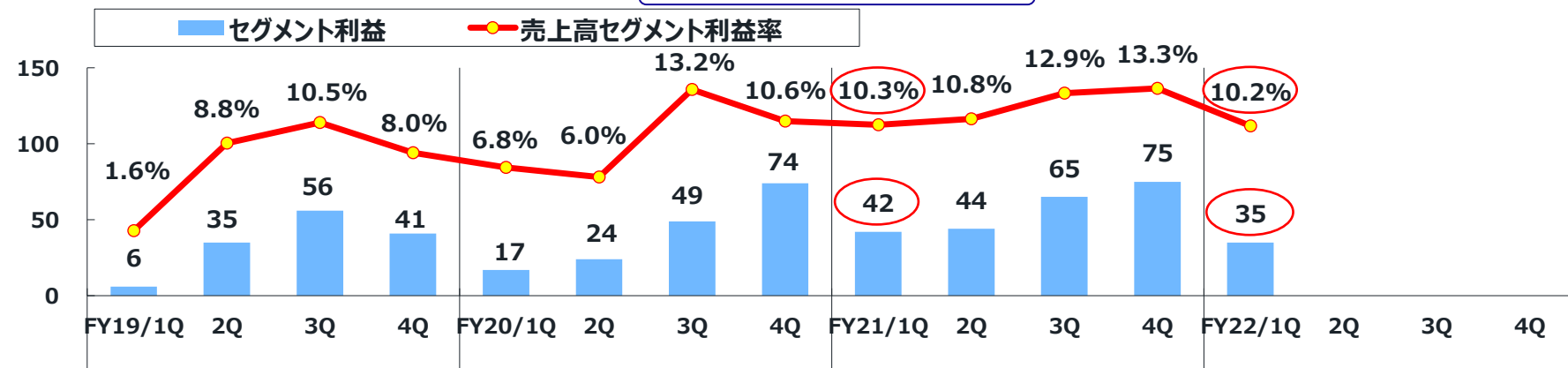


為替
レート

	19/1Q	19/2Q	19/3Q	19/4Q	20/1Q	20/2Q	20/3Q	20/4Q	21/1Q	21/2Q	21/3Q	21/4Q	22/1Q	22/2Q	22/3Q	22/4Q
¥/USD	110.0	107.9	108.6	108.1	107.5	106.7	104.9	104.8	109.9	110.3	112.9	115.3	127.1			
¥/EUR	123.2	120.0	119.7	120.0	118.6	124.2	123.4	127.3	131.7	130.6	129.7	129.7	136.9			
¥/AUD	77.2	74.0	73.9	72.6	69.2	76.1	75.2	80.6	84.5	81.4	82.3	82.7	92.0			

(億円)

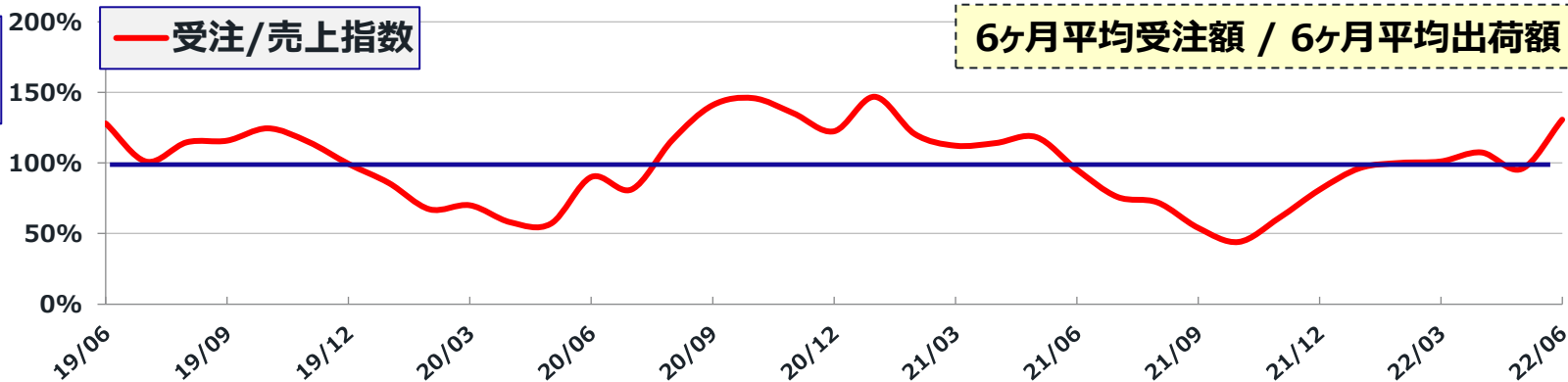
セグメント利益



【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕 鉱山機械（本体）

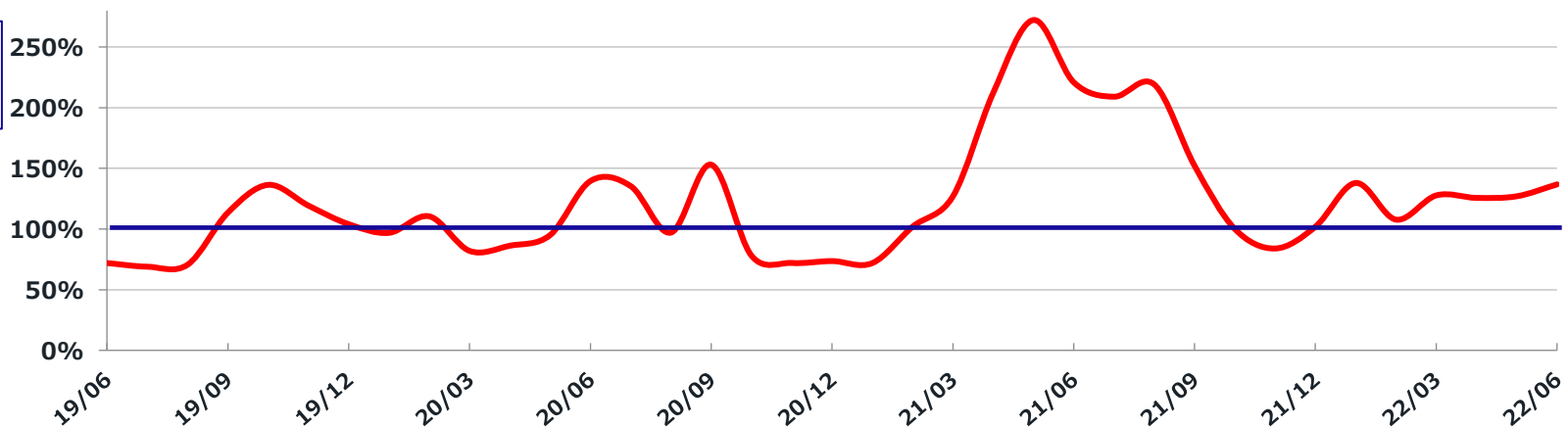
コマツアメリカ (マイニング)

730E, 830E
860E
930E, 960E
980E



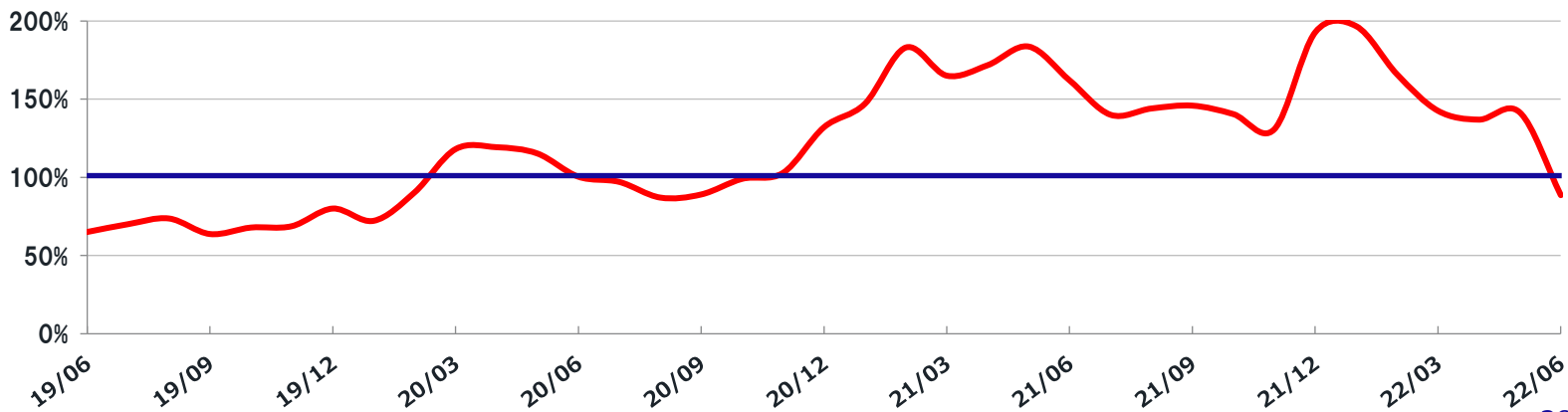
コマツドイツ (マイニング)

PC3000
PC4000
PC5500
PC7000
PC8000



コマツ単独 (マイニング)

HD785, HD1500
PC2000, PC3400
PC4000
WA800 up
D375A up
GD825A up

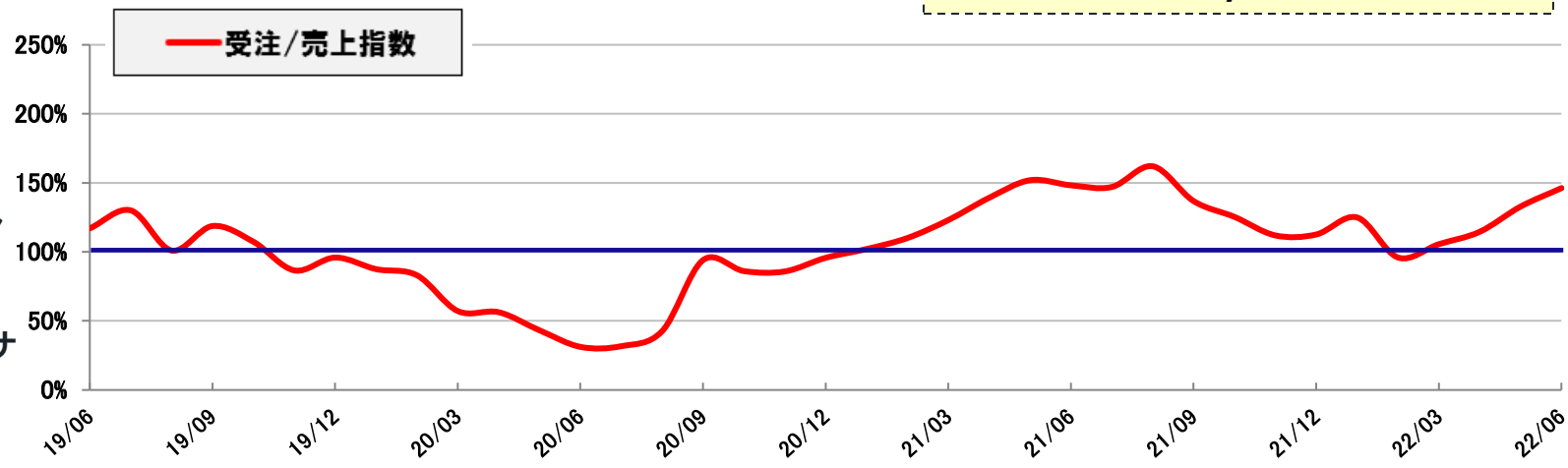


【参考資料】BBLレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕KMC製の鉱山機械（本体）

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額

KMC (マイニング)

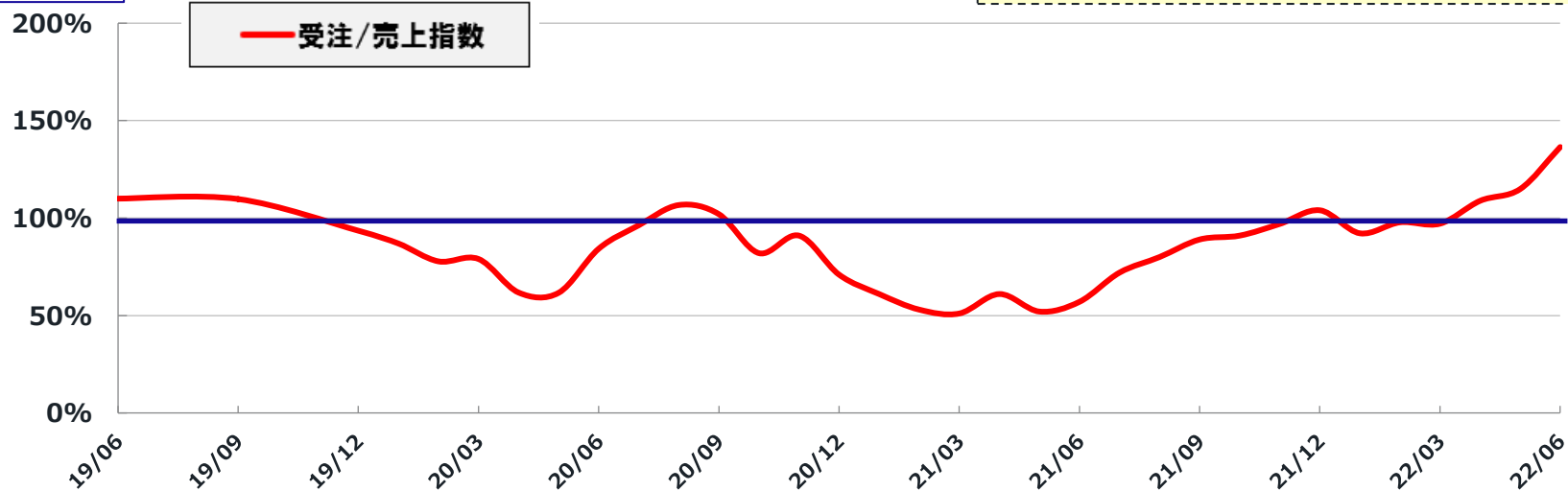
- <露天掘り>
- ロープショベル
- ブラストホールドリル
- ドラグライン他
- <坑内掘り>
- コンティニューアスマイナ
- シアラー
- ロードホールダンプ
- ドリルジャンボ他



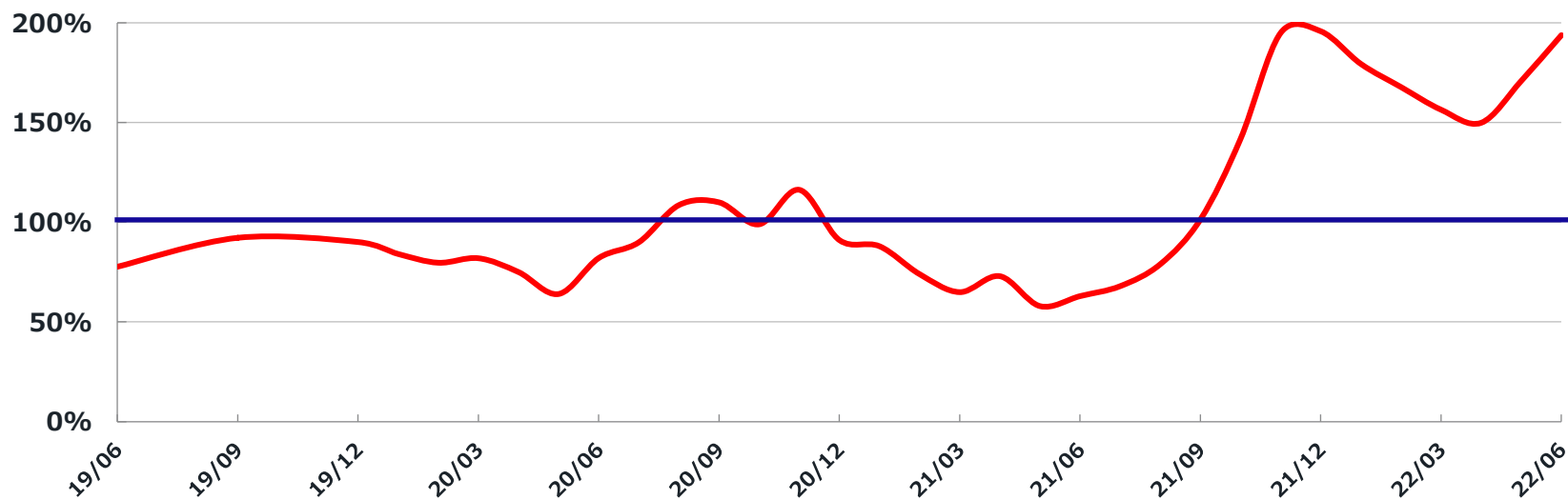
【参考資料】BBレシオ〔受注／売上指数（6ヶ月）〕産業機械

コマツ産機

6ヶ月平均受注額 / 6ヶ月平均出荷額



コマツNTC



坑内掘り鉱山向け通信デバイスと坑内測位による最適化プラットフォームを提供 豪州マインサイトテクノロジーズ社を買収

コマツは、坑内掘り鉱山向けの通信デバイスと坑内測位による最適化プラットフォームのプロバイダーであるマインサイトテクノロジーズ社（本社：オーストラリア ニューサウスウェールズ州）を買収しました。マインサイトテクノロジーズ社は、坑内掘り専用の通信デバイスによって、坑内での作業員同士・鉱山機械同士の通信および位置検出を可能とするソリューションを開発・製造・販売しています。



カーボンニュートラルへ貢献する循環型林業ビジネスの拡大 スウェーデン植林アタッチメントメーカーを買収

コマツは、植林用アタッチメントの開発・製造・販売会社であるBracke Forest AB（本社：スウェーデン ブラッケ）を買収しました。ブラッケ社は、植林分野において長年にわたる経験を持つ会社であり、植林の工程（植林地整備、植栽）に使用される各種アタッチメントを開発・製造・販売しています。



コマツマイニング（株）新工場で、開所式を実施

コマツマイニング株式会社は、6月27日に、アメリカ・ウィスコンシン州ミルウォーキーのサウスハーバーキャンパス内にある新工場の正式なオープンを記念し、現地で開所式を実施しました。

(2022年6月28日 ニュースリリース)



鉱山向けダンプトラックのゼロエミッション技術の開発推進 コマツとカミンズが基本合意書を締結

コマツと米国の大手エンジンメーカーであるカミンズは、基本合意書を締結し、水素燃料電池ソリューションを含め、鉱山向けダンプトラックのゼロエミッション動力源の技術開発について協議を進めていくことに合意しました。本協議は、いかなる動力源でも稼働可能なコンセプト「パワーアグノスティックトラック」の開発の一部を担うものです。

(2022年6月29日 ニュースリリース)

KOMATSU



KOMATSU

坑内掘りハードロックの坑道掘削新工法を促進 コマツ、チリ・コデルコと「マイニングTBM」のトライアル実施に合意

コマツは、チリ国営の鉱山大手コデルコと、坑内掘りハードロック鉱山において「マイニングTBM（Tunnel Boring Machine：トンネル掘削機）」を活用した坑道掘削新工法を実現するためのトライアルを2024年より開始することに合意しました。

(2022年7月8日 ニュースリリース)



坑内掘りハードロック向け鉱山機械「マイニングTBM」

【業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】

前述の将来に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。